

鯨油 漬 罐詰 (單位圓)

大連七六△關東洲一〇、七五三△中華民國中部六七△蘭領印度四四△ソビエト露國九〇〇
 △パレスティン三九、一六五△シリヤ七、四二四△其他アジヤ八〇△イギリス六、九〇五△フラ
 ンス九、二五〇△ベルギー九九、一五六△伊太利五、〇五三△スイス一〇、五四三△オランダ二
 、二七三△ギリシャ一、五九五△埃太利三、三〇一△北米合衆國二、六二七、六八二△加奈陀三
 四、二七四△キューバー八三△コロンビヤ三五三△埃及四六、二二五△ケニヤ植民地二〇八△ア
 フリカ六、六四五△合計五、六九七噸 二、九一三、一五六圓

以上であつて同九年一月から十二月末迄の全國輸出数はホワイトミート二五三、七六四噸 ライトミ
 ート二二、四三噸 合計二七八、六九七噸であり月別に見れば

- △一月一、六〇一 △二月六、四一五 △三月一〇、一六七 △四月八、七九二 △五月二二、
 - 九〇二 △六月五一、三四三 △七月五七、二七八 △八月三五、〇五二 △九月三四、三六二
 - △十月一八、五五五 △十一月一二、六七一 △十二月一九、五五九
- である。此のうちの八三%は清水市を中心とする本縣下で生産されたものであつて生産検査函数は次
 の如くである。
- 清水食品六六、九七四 △後藤四一、九一二 △清水水産二一、八六四 △静岡食品一四、八八
 - 一 △櫻田二二、二一九 △焼津水産一二、一三〇 △富士水産食品一〇、九五〇 △蒲原罐詰
 - 九、五五七 △三共八、九三六 △焼津食品四、三六八 △由比罐詰四 三四五△柴田四、〇八
 - 九 △杉山二、二五六

觀 光

通 觀

此のうち清水市内に工場を有するものは清水食品株式會社、後藤罐詰所、清水水産株式會社、櫻田虎
 藏、柴田太吉、杉山留吉の六工場である。

更に果實及蔬菜等の輸出罐詰も年々其の生産を増加してゐるが主なる蜜柑罐詰輸出は左の如し
 大連五一圓△關東洲二〇、一五三圓△香港三〇〇圓△海峽殖民地一五〇圓△蘭領印度二、八九九
 圓△イギリス二一九、九〇〇圓△獨逸一四〇圓△ベルギー三五〇圓△オランダ四、五四〇圓△北
 米合衆國一七、九五三圓△合計一八九八噸 二六六、四三六圓

風光と名勝に恵まれた清水市は「觀光の清水」として専ら外客誘致に努め、諸種の施設をも進めつ
 ゝあるが昭和九年には總工費十萬圓を投じて日本平への觀光道路を完成せしめ、又鐵道省が龍華寺よ
 り日本平を経て久能に至る間をハイキングコースに指定した事は清水市の觀光價値を一躍全國的に廣
 めたもので年々外客は増加し、一面には折戸灣の遊漁と共に清水市は東海日本の秀粹を象徴する樂園
 である。

觀光の清水

日本平

清水驛より一〇、三軒 龍華寺迄乗合自動車にて十五分 二十錢
海拔三百十米。清水市の西南に位する。通ずるに新装ドライブエーを以つてし、頂上に至るや、潤然と眺望展け、東に富士、西に遠洲灘、前面清見潟の絶景を一眸に納め、文字通り十方碧洛、八面麗朗の展望臺。最近鐵道省クーポンに依るハイキングコースの指定をうけ、四時遊樂の客絶えず富岳大觀海内一の誇りを裏書きしてゐる。山麓に草薙神社あり。日本武尊の此處に賊難に遭はれし際、草を薙ぎてこれを平らげられた御遺跡として有名である。

三保松原

清水驛より八四軒 乗合自動車にて三十分 三十錢 江尻波止場より渡船にて十分 十錢 清水波止場より十分 五錢 下船何れも數分徒歩
靈峯富士を正前に仰ぎて、脚下に白濤の碎くる處、即ち三保の松原である。長汀曲浦、白砂青松、殊に大自然に朗々と育てられたるこの風景こそ、清水市が天下に誇る絶勝である。

羽衣の松

三保松原にあり、謡曲羽衣に依つて普く紹介されたる傳説の松、一名衣掛の松とも呼ばれ、波ものどかな南濱にその巨枝をのべてゐる。今になほその下にイめば夢ならぬ霓裳羽衣の曲を聴く事が出来るであらう。

御穂神社

羽衣の松北方三町の地點にあり、式内の古社にして日本武尊御東征の際、勅を奉じて官幣を供せられしと傳え、寶物には國寶に指定された、鈴木重家糸巻の太刀及羽

衣の一端が秘藏されてゐる。

三保海水浴場

清水波止場、江尻波止場より船にて十五分 片道十錢往復十五錢
夏の清水の樂天地。内海の波ものどか、磯の香に咽びながら、避暑に、水泳に、キヤムプに、來遊者雲集。殊に海濱にプールも施設され、海の勇者を喜ばしてゐる。

次郎長の墓
及銅像

清水驛より二、五軒 乗合自動車にて十分 十錢 電車港橋終點下車 五錢
本名山本長五郎と云ひ、文政三年市内美の輪に生る。身は遊俠にありながら陛下の赤子として社會教化の任に當り、後年富士裾野の開墾、産業の開發に盡瘁せるに依り、時の縣令より特に褒詞を賜つた。その放膽なる、その純情なる、その直截なる仁俠的行爲こそ、正に清水人の典型と稱すべきか！ 明治廿六年六月十二日七十四歳を以つて壽を完了したが、その葬儀途列數町に及んだと傳へらる。墓銘は子爵榎本武揚の筆になるもの、昭和三年仰徳の士に依つてその銅像が建てられた。駿府城にかたどつた城壁を背に毅然と座す風貌あくまで魁偉、冗せざるも清水港の名物たるを失はぬ。

壯士の墓

清水驛より二、一軒 港橋下車 五錢
明治元年、清水港で官軍の刃にかゝつて無慘の最後を遂げた幕軍軍艦咸臨丸乗組勇士の遺骸を、次郎長がその乾分と共に懇ろに葬つて「死ねばこれ須て佛なり、咎めあらば我れ身を以つて之に當らん」と建てたる一基。墓銘は山岡鐵舟の筆になるもの、この義俠的行爲に依つて、次郎長は鐵舟の知遇を得たと云はれてゐる。

龍華寺

清水驛より四、八軒 乗合自動車にて十五分 二十錢
日蓮宗日近大僧都の創立に係る寺、草薺の屋根も床しく、境内よりの富嶽の眺望は東海第一の名がある。山上に文豪高山樗牛の胸像及び墓石あり、境内に、天然記念物の大蘇鐵、大仙人掌あり、四時訪れる人が跡を絶たない。

鐵舟寺

清水驛より四、七軒 前掲龍華寺の北隣
臨濟宗の名刹、維新の名士山岡鐵舟が久能山寺を再興せる寺、待賢門院御筆の法華經、信西入道筆の觀音菩薩經等は國寶に指定され、又鐵舟が拜領した明治天皇御祭服、昭憲皇太后御手袋を秘藏してゐる。境内に芭蕉の句碑がある。

蘇峰學人詩碑

鐵舟寺附近杉原山頂上にあり、又風光の佳絶せるを以つて知らる。
碑面に曰く 日夕雲烟往又還 青霄縹緲是仙臺
名山不作不平色 白髮昂然天地間 と。

清水 石垣栽培

久能山東照宮

清水驛より九軒 乗合自動車にて三十分 三十錢
市内増蛇塚にあり。温暖の氣候を利用して、既に十一月食膳に上すことが出来る石垣栽培は、今や日本はおろか全世界に驚異の眼を向けられてゐる。
清水驛より九、八軒 乗合自動車にて三十分 三十五錢
徳川秀忠の建立になり、家康の遺骨を納むるところ。典雅の構、華麗の飾、然も海濱に南面屹立せる往時の要害である。段を數ふる千と百五十九、以てその峻を傳ふるべく、階を埋めるに梅を以つてし、春四月十七日がその大祭日である。

寶物館 國寶十五點に添へて徳川の盛代を語る名刀佳什を陳列せるもの。
勘介井戸 山上に水を求めて山本勘介がその主信玄の爲に掘りしと云ふ井戸、深さ十丈八尺。
狐ヶ崎遊園 清水驛より四軒電車にて十五分 九錢 乗合自動車にて十分 十錢
清水市唯一のパーク、動物園、花壇野外劇場、各種運動用具を備へて兒童の娛樂園としても絶好のもの宛然清水の寶塚である。
袖師海水浴場 清水驛より二、二軒 乗合自動車にて十分 十錢 電車にて十分 十錢
袖師海水浴場は清水與津間にあり、夏期は袖師驛が設けられ日に數千の客を吞吐してゐる。
清見寺 清水驛より三、九軒 乗合自動車にて十五分 七錢 電車は袖師終點下車 七錢

清水市遊覽コース

1 清水驛(バス)次郎長の墓(バス)鐵舟寺・龍華寺(バス)三保の松原(バス)久能山東照宮(バス)静岡若は清水驛
所要時間四時間半 賃金約壹圓 注意「次郎長墓」は港橋際でバスを下車して、そこより徒歩で往復します。大型貨切バス十七人乗一臺十三圓
2 清水驛(バス)次郎長の墓(バス)鐵舟寺・龍華寺(バス)松井町波止場(舟)三保塚間波止場(徒歩)三保の松原(バス)久能山東照宮(バス)静岡若は清水驛
所要時間四時間半 賃金約壹圓

- 3 清水驛(バス)次郎長の墓(バス)龍華寺・鐵舟寺(徒歩)日本平(ハイキングコース)久能山(バス)三保の松原(バス)清水驛
所要時間六時間 賃金約八十五錢 尚關西、名古屋方面よりおいでの方は、右の内一二三共逆を行くことが出来ますし、又は静岡を起點とすることも出来ます。
- 4 清水驛(徒歩十分)江尻波止場(舟二十分)三保渡船場(徒歩十分)御穂神社(徒歩十分)羽衣松(徒歩十分) 往復 所要時間二時間半 賃金船十五錢
- 5 清水驛(徒歩十分)江尻波止場(舟二十分)三保渡船場(徒歩十分)御穂神社(徒歩十分)羽衣松(徒歩十分)御穂神社(バス四十分)龍華寺(ハイキングコース)日本平(徒歩二時間)久能山(バス三十五分)清水驛
所要時間六時間十五分 賃金船十錢 バス六十錢

吉原の櫻

は清水の町から庵原を経て兩河内村に通ずる數里に亘る縣道の一部に植えられたもので樹齡凡そ三十有餘年山家育ちではあるが山峽に咲き誇る麗姿、翠綠の間に妍を競ふ萬葉の花それは自然をして描かした一巻の繪巻物であると云ひたい。

花のある處迄は清水驛を北方へ約二里…乗合自動車で約二十五分、列車毎に接續して居る。俗境を離れて新鮮な空氣と新綠に浸りながら一家總動員の櫻狩に一日のピクニックを斷行するには先づ恰好の所である。

花期は四月上旬より中旬迄最も見頃は十日前後より

伊佐布の瀧

吉原への途すがら伊佐布の瀧を見るのも亦一興である高さ三丈有餘尺鬱蒼たる深綠の間に白龍の如く盛觀を呈して居る。

享保八年安穩寺六代目日曉聖人の開祖とあるから瀧の由來は可なり古いものである。

別荘地帯

本市内に於て別荘地として推奨したきは龍華寺、鐵舟寺を中心とせる有度山東麓一帯の地を第一とする。即ち東面して市街、港灣を眼下に見くだし清見瀉を隔て、富岳を望む絶景を居ながらにして満喫し得る。

此の方面には已に知名人士の別荘數ヶ所あり、尙追々數地の買收行はれつゝありて、將來は湘南にも比すべき一大別荘地帯を形成すべき趨勢にある。現在この邊りは蜜柑園多く果樹栽培に適し、中腹松林中には茸類を多く産して季節には松茸狩殊に賑ふ。頂上風光明媚なる日本平は茶のかほりも豊かなる一大茶園であり、麓より十數分にして達する自動車の便がある。頂上より少しく降れば到る處の山間峽谷より清水湧出す。此の湧水は夏なほ寒さを覺えしむるに引換へ冬期温かにして水質殊によく飲料に適す。以上別荘地としての條件を具備して遺憾なき點に鑑み、本市都市計畫課に於ても此の邊一帯を別荘地帯として發展せしむべく計畫中であり、一面また縣當局に於ても日本平を中心として一大ゴルフリンクスの計畫が考慮されつゝある。

清水みやげ

品名	定 價	品名	定 價	品名	定 價
山葵漬	二五〇	次郎長羊羹	一五〇	山葵羊羹	一〇
緑茶	二五〇	次郎長豆	一〇	追分羊カン	五
ほうじ茶	一五〇	次郎長人形	一〇	梨の露	一五
三保のり	各 種	名所煎餅	一〇	三保煮	一四
盤節	五〇	羽衣羊羹	一〇	名所繪葉書	一五
櫻海老	各種(特産)	茶羊羹	一〇	次郎長餅	一五
次郎長漬	二五〇	莓羊羹	一〇	イチゴ箱入	一〇

祝 祭 日

- 一月 新年祝賀會
- 二月 清水市制祭(十一日) 美濃輪稻荷神社の節分祭(四日) 御穂神社つゝかゆ祭(十五日)
- 三月 美濃輪稻荷神社大祭(十五日)
- 四月 三保羽車神社大祭(十五日)
- 五月 行幸記念式(二十九日)
- 六月 次郎長祭(二十二日) 水神社大祭(十五日)
- 七月 巴川燈籠流し、煙火大會(十六日)
- 八月 江尻稻荷神社(一日) 清水八雲神社大祭(二日)

- 九月 縣社 草薙神社大祭(二十日)
- 十月 江尻八幡宮大祭(九日) おひまち、各神社例祭(十七日)
- 十一月 清水市招魂祭(上旬) 縣社 御穂神社大祭(一日) 市民体育大會(三日)
- 十二月 清水西ノ宮神社大祭(十九日)
- 秋葉山大祭、火渡り(十六日)

清水市保勝會

會長 大石 惠直 常任理事 程 島 定彦

副會長 佐藤 繁一 常任幹事 渡邊 矢三郎

全會 中村 藤太郎 主 任 若杉 雄三郎

釣 り 便 り

清水港を抱擁する清見潟一帯の風光は既に定評があり更に三保松原によつて圍繞された折戸灣は海苔及牡蠣の産地であるが灣内潮ゆるやかに波立たず釣遊には眞に絶好の場所である。折戸灣の漁場として誇るに足る點は多々あるが、巴川の淡水と駿河灣の鹽水とが交流する結果淡水魚棲み各種の鹽水魚亦豊かで一年を通じて不漁期が無いのと清水港の深い水路は外海の魚類を盛んに折戸灣に導くので外海に出なく共手近な處で舟を浮べ容易に而かも家庭的に外海の魚釣趣味を満喫することが出來又陸釣の得意の人は岸壁から糸を垂れて舟釣にも劣らぬ獲物が得られる點等確に日本第一の釣遊場の名に

背かない。殊に一年を通じて不漁期のない黒鯛釣は清水港の特色として定評あり、四、五月頃のキス六、七、八月の小アチ釣り及ス、キの夜釣りは非常な賑ひを呈し京濱及山梨縣方面等遠來の客も尠くない。

ウナギ、鮒、鯉、イナ、ハゼ。海老、ハヤ、ウグイ、セイゴ、ボラ等もあり。ハゼは巴川の名物であつて最盛期は九月中旬より十一月、鮒は六七月頃本支流全般に亘つて釣れ、イナは七八月頃鮒に混つて下流方面で釣れ、ボラは八、九、十月頃、ハヤは四、五月、蚊針釣、餌釣共盛んで、ハゼは二、三、四の三ヶ月を除いてよく釣れ、夏期のス、キは巴川下流に於て釣れ特に大雨後は最も良いとされて居る。ウナギは殆ど一年を通じて釣れるが七、八月が一番である。此の外羽衣海岸を中心に西は久能山下より東は眞崎に至る二里の間でグチ(石持)の釣れるのは五月より十一月迄とされ灣内の延縄釣は九月より十一月の間で主としてカン鯛、キス、カイズ、コチ、アマ鯛等が多い。

釣 り 一 よ み

- 一月 黒鯛、カン鯛、タナゴ、カサゴ、大ゴチ、ハゼ、シマイサキ、カレヒ、(沖釣) ムツ
大刀魚
- 二月 黒鯛、カン鯛、タナゴ、カサゴ、カワハギ魚、ハゼ、シマイサキ、(沖釣) ムツ、大
刀魚
- 三月 黒鯛、白カイヅ、キス、タナゴ、カサゴ、ベラ、コチ、カワハギ魚、(沖釣) ムツ、
大刀魚

- 四月 黒鯛、赤鯛、カイヅ、キス、カサゴ、ベラ、コチ、ボラ(沖釣) ムツ。
- 五月 黒鯛、赤鯛、大鯨、ス、キ、キス、カサゴ、ベラ、セイゴ、コチ、ボラ。
- 六月 黒鯛、赤鯛、小鯨、ス、キ、キス、カサゴ、ベラ、セイゴ、コチ、ハタ、イカボラ。
- 七月 黒鯛、銀鯛、小鯨、大ス、キ、キス、セイゴ、ベラ、コチ、ボラ(沖釣) ウヅワ、鯉
シイラ。
- 八月 黒鯛、銀鯛、小鯨、大ス、キ、キス、セイゴ、ベラ、コチ、ボラ。
- 九月 黒鯛、銀鯛、キス、タナゴ、セイゴ、ベラ、コチ、イナダ、シマイサキ、ハゼ、ボラ。
- 十月 黒鯛、カン鯛、タナゴ、カサゴ、セイゴ、大ゴチ、イナダ、シマイサキ、カレヒ、ボ
ラ(沖釣) 大刀魚。
- 十一月 黒鯛、カン鯛、タナゴ、カサゴ、大ゴチ。イナダ。シマイサキ。カレヒ(沖釣) 大刀
魚。
- 十二月 黒鯛、カン鯛、タナゴ、カサゴ、大ゴチ、イナダ、シマイサキ、カレヒ(沖釣) 大刀
魚。

釣 り 舟 料 金

和船一隻(客三人迄) 貸切、船頭、エサ、釣道具付 金 四 圓 也	機械船一隻(客三人迄) 貸切、船頭、エサ、釣道具付 金 五 圓 也	釣舟一隻往復引船付 金 七 拾 錢 也
--	---	------------------------

官公署・各種組合

静岡縣廳

(電話静岡代表番號二七〇〇)

知事 阿部 嘉七
 總務部長 足立 政雄
 學務部長 星子 政雄
 經濟部長經濟統制課長事務取扱 多湖 實夫
 警察部長 橋本 清吉
 土木部長 西尾 義一
 總務部 林 權
 人事課長兼知事官房主事 林 權

人事課主席 天野 一太郎
 庶務課長 吉開 政夫
 庶務課主席 五十嵐 文雄
 地方課長 長谷川 清
 都市計畫課長兼總務課長 眞坂 忠藏
 統計課長 實藤 豐吉
 會計課長 井口 勳
 會計課用度掛主任 西尾 榮太郎
 學務部 松浦 榮
 教育課長兼社會課長 松浦 榮
 教育課地方視學官 松浦 榮

社會教育課長 佐伯 正夫
 社寺兵事課長 相京 伴信
 補山 佐市郎
 經濟部
 農務課長 手島 傳
 農務課小作官 橫山 芳介
 農務課主席 狩野 康
 產業組合課長 千野 恒雄
 商工課長兼水產課長 神田 博
 商工課主事 高杉 幸博
 山林課長 久保 時男
 山林課主事 土屋 高次郎
 蠶糸課長 鹽入 藤五郎

耕地課長 石井 家吉
 耕地課主席 西尾 榮作

警察部

特別高等課長 橋瓜 清人
 警察部長書記室主任 安間 五平
 警務課長 鈴木 幹雄
 保安課長 山崎 清作
 刑事課長 平野 義一郎
 衛生課長 綠川 彌彌
 工場課長 林 德欽
 健康保險課長 田中 年雄
 土木部
 總務課主事 大石 利平
 道路課長 高良 末綱
 河港課長 青木 信夫

清水港務所

(電話六二九番)

所長 小畑 英五郎
 書記 原 正綏
 技手 渡邊 耕士
 全手 藤浪 善郎
 雇手 彦山 輝治
 助手 福原 斧平
 工事雇 岩崎 堯
 全雇 鹽澤 喬
 監視人 瀧田 藤一郎
 岡谷 嘉一
 內務省橫濱土木出張所
 清水港修築事務所
 (電話二一〇番)
 主任內務技師 伊藤 令二
 內務屬 相島 計治

書記 山田 重慶
 全 土屋 完
 全 清野 義雄
 全 今澤 福二
 內務技手補 森 一郎
 全 內田 勉
 全 依田 昌信
 全 澤田 進
 內務省橫濱土木出張所
 清水機械工場
 (電話三一七番)

主任(兼) 伊藤 令二
 (兼) 相島 計治
 書記 川村 康三
 內務技手補 村松 傳藏
 静岡區裁判所江尻出張所
 (電話六八五番)

第四支部長(興津) 小林 麻次郎

興津支部役員 長崎 甚太郎

大石 才次郎

中澤 三十三

望月 勇次郎

山梨 幸一郎

青木 源太郎

海野 政太郎

日本柑橘北米輸出

同業組合

(電話三〇八番)

組長 望月 益之助
副組長 東 吉右工門
書記 朝比奈 清作
技師 熊谷 鉄二郎
新井 清太郎
評議員 藤田 俊夫

清水市土木建築請負

同業組合

(電話五八五番)

組合長 櫻井 康弘
副組合長 齋藤 豐藏
會計 谷 寅吉
副會計 增田 勇藏
幹事 渡邊 孝
杉山 卯八
青木 理吉
足立 忠作
二又川市十郎
齋藤 仙太郎
相談役

組合員 井上 與作

勝 呂 組

松浦 德藏

望月 淺吉

古郡 久作

太田島 万太郎

静岡縣土木建築

請負業組合清水支部

本部代議員 齋藤 豐藏
木下 誠一
谷 寅吉
大石 和三郎
青木 理吉
二又川市十郎
櫻井 康弘
木下 誠一
會計專任 增田

全 堀池 佐太郎

幹事 齋藤 豐藏

全 渡邊 孝

全 杉山 卯八

全 大石 和三郎

全 渡邊 新作

清水市和洋家具商工組合

組合長 小長井 豐司

副組合長 內藤 貞太郎

全 山本 徳次

評議員 松永 節

會計 小長井 喜作

會計事務 大畑 英男

顧問 大橋 金次

後藤 龍一
大石 貫一
中村 梅吉
杉山 梅吉
大橋 金次

清水港台灣米移入協會

幹事長 小野 壽一郎

幹事 增田 利七

鳥井 保一

西田 伊之藏

小野 壽一郎

田中 辰次郎

西田 伊之藏

會計 西田 伊之藏

清水市農產物

出荷組合聯合會

促成早熟蔬菜部

部長 櫻田 仁作

副部長 宮城島 源作

全 瀧戸 庄吉

溫室生産品部

部長 中川 宗太郎

副部長 遠藤 兵馬

梨果部長 後藤 榮次

副部長 大瀧 一三

柑橋部長 大瀧 拾太郎

副部長 內藤 皆右工門

石垣部長 萩原 大吉

露地苺部長 遠藤 平馬

副部長 遠藤 友吉

全 遠藤 文太郎

清水市ラヂオ商組合

(電話八五四番)

組長 鍋田 周作
幹事 大澤 半右衛門

全會計 杉山 晉吉 外岡 久作 小澤 岩太郎 望月 傳一 深澤 榮 重吉 春松 伊藤 市太郎 葛西 要次郎 牧田 幸太郎 松下 業治 天野 幸一 小林 榮太郎 若杉 久藏

清水市電力使用組合
組合長 鈴木 與平
副組合長 渡邊 庄次郎
全 長澤 重兵衛

清水市洋服商組合

(電話九〇八番)

組合長 遠藤 重松
副組合長 石橋 八百一
會計 望月 角太郎
評議員 井上 惣一 伊藤 綾太郎 安間 益吉

清水市靴商組合

(電話九五四番)

組合長 佐野 享三
副組合長 平野 謙太郎
會計 佐野 憲次
幹事 神原 信太郎 川名 幸平

保證 清水瓦販賣 購買利用組合

(電話六九一番)

組合長理事 杉山 徳次郎
專務理事 岩邊 明
常務理事 橋本 玉藏
理事 渡邊 貞次 渡邊 貞孝 石原 榮作 大石 孝太郎 岡村 幾夫 金重 慶夫 鈴木 晉吉 山崎 庄十 渡邊 嘉吉 望月 清作 比留 正三 價格評定委員 平井 幾太郎

清水市釣具貸舟業組合

組合長 山本 仲次郎
副組合長 八重田 源太郎
會計 岡村 久吉
事務員會計 久保田 銀一郎 望月 幸太郎 渡邊 銚祐 購買係 井藤 林作 販賣係 渡邊 金太郎 倉庫係 内田 貞男

清水艦船行商組合
組合長 望月 辰藏
副組合長 原木 金藏
會計 齋藤 建藏 松下 泰治

清水市建築業組合

副組合長 山梨 淺吉
會計 早川 作平
幹事 北村 權之助 小林 勳 平垣 寅吉 保科 留造 櫻井 留造

組合長 山田 勝四郎
副組合長 酒井 徳太郎
會計 望月 淺吉 三浦 寅吉 神戶 鎮太郎 島山 高二 芹澤 正佳 太田 文雄 相談役 守屋 文太郎

清水市鉄工業組合

第一部長 久保田 新作
第二部長 間宮 源太郎
第三部長 小長谷 金藏
第四部長 出口 定吉
第五部長 大瀧 忠助
第六部長 山田 松次郎
第七部長 高田 善太郎
第八部長 高山 光
第九部長 大内 喜代治
第十部長 坪井 孝吉
第十一部長 木口 準次
第十二部長 堀谷 又三
第十三部長 山梨 清七
第十四部長 川口 善吉
伊藤 徳太郎 池上 延一郎 池上 政治郎

全委 第二部長
全委 第三部長
全委 第四部長
清 員

稻 田 中 胎 一 男
田 中 胎 三 郎
深 澤 喜 三 郎
望 月 喜 三 郎
奧 林 近 三 郎
會 田 準 馬
深 澤 精 一
久 保 田 熊 吉
櫻 田 直 藏
栗 田 武 義

青 木 福 太 郎
澤 野 乙 吉
酒 井 金 太 郎
森 源 八 藏
杉 山 七 藏

保 證 實 任 靜 岡 縣 購 買 販 賣 利 用 組 合 聯 合 會
電 話 (一〇八〇—一〇八四番) 九一六

本 所
會 長 理 事 榛 葉 忠 藏
專 務 理 事 伊 藤 連 司
全 體 岩 間 芳 雄
柑 橋 擔 當 理 事 森 和 一
總 務 部 長 大 橋 卓
總 務 次 長 渡 井 常 藏
總 務 部 主 任 渡 井 常 藏
庶 務 主 任 栗 田 秀 司 (兼)

木 內 新 次
渡 井 當 一
矢 入 基 順
佐 藤 純 代
小 林 綾 子
齋 藤 佳 子
加 藤 文 子
山 下 諒 太 郎
立 石 威 織
青 木 勝 次
伊 藤 幸 雄
大 畑 儀 策
岩 本 忠 雄
常 盤 久 子
栗 田 秀 司
大 杉 平 七 (兼)
土 屋 武 司
內 田 久 雄
渡 井 常 藏 (兼)

監 查 部 主 任
調 查 都 主 任

稻 葉 健 司
中 田 鐵 藏
萩 原 昇 次
太 田 直 太 郎
大 關 彌 太 郎
大 村 國 正
池 上 作 次 郎
御 山 爲 彦
河 村 彌 一 郎
角 井 仲 藏
田 山 藤 四 郎
中 西 芳 次 郎
中 野 專 太 郎
山 本 恒 吉
松 永 信 次 郎
池 上 鐵 藏
眞 野 勝 夫
松 永 仙 一
小 長 谷 春 吉

江 川 乙 次 郎
寺 田 喜 代 太
青 木 岩 次 郎
赤 堀 喜 太 郎
酒 井 竹 次 郎
櫻 井 留 藏
池 上 喜 代 松
佐 野 健 次
三 浦 半 一 郎
遠 藤 市 太 郎
大 野 順 一 郎
柴 田 錄 太 郎
望 月 辰 藏
芹 澤 榮 藏
關 澤 榮 藏
杉 本 梅 藏
杉 山 德 藏
山 本 鐵 工 所
佐 野 鐵 工 所

石 川 喜 雄
橋 本 順 作
西 部 豐
高 木 操
中 村 健 太 郎
田 中 清 一
萩 田 又 一
榛 葉 春 吉
鈴 木 和 一
栢 森 賜

組 合 長 出 口 安 太 郎
會 計 寺 尾 熊 二 郎
顧 問 加 藤 濱 吉
相 談 役 杉 本 權 四 郎
第 一 部 長 脇 田 武 一
委 員 神 野 武 一

清 水 市 旅 館 組 合
(電 話 二 一 二 番)

大杉平七
山下諒太郎(兼)
植松啓一
肥料部主任
藤下三作
谷崎與七郎
杉山芳雄
齋藤保雄
森浦武雄
原川久一
山本貞子
齋藤定次郎
工場兼利用部

鈴木富美枝
中村照太郎
池上秋雄
浦田宗作
齋藤初藏
土橋幸作
岩崎嘉市
内山隆
望月玲
深澤利雄
前田文二
杉浦武(兼)
安達勇之助
山岸哲男
佐野博
多藝武久
望月良一
馬淵弘志

中川一衛
海野ひさ枝
石川新一郎
鈴木九平
金指定義
長島正一(兼)
遠藤茂
鈴木汎(兼)
中島長夫
土屋三郎(兼)
中澤省三(兼)
靜岡木炭販賣所
奧川清市
淺井榮
土屋三郎
石川新一郎(兼)
製茶部主任
芹澤融治

飼料部主任
高井猪佐雄
稻垣謙三
杉本格次郎
杉松煉二
中山榮一

大杉平七
山下諒太郎(兼)
植松啓一
藤下三作
谷崎與七郎
杉山芳雄
齋藤保雄
森浦武雄
原川久一
山本貞子
齋藤定次郎
工場兼利用部

鈴木富美枝
中村照太郎
池上秋雄
浦田宗作
齋藤初藏
土橋幸作
岩崎嘉市
内山隆
望月玲
深澤利雄
前田文二
杉浦武(兼)
安達勇之助
山岸哲男
佐野博
多藝武久
望月良一
馬淵弘志

中川一衛
海野ひさ枝
石川新一郎
鈴木九平
金指定義
長島正一(兼)
遠藤茂
鈴木汎(兼)
中島長夫
土屋三郎(兼)
中澤省三(兼)
靜岡木炭販賣所
奧川清市
淺井榮
土屋三郎
石川新一郎(兼)
製茶部主任
芹澤融治

柑橋部主任
望月光市郎
笹山國治
國持史郎
塚口勇作
長島正一
山村芳雄
中山澤省三
中澤美芳
渥美美芳
望月まさ江
農産加工部主任

望月光市郎
笹山國治
國持史郎
塚口勇作
長島正一
山村芳雄
中山澤省三
中澤美芳
渥美美芳
望月まさ江
農産加工部主任

聯合農業倉庫部
田中重次
笹山國治(兼)
小田正之
望月正己
鈴木汎
支所
濱松支所主任
稻川東明

望月光市郎
笹山國治
國持史郎
塚口勇作
長島正一
山村芳雄
中山澤省三
中澤美芳
渥美美芳
望月まさ江
農産加工部主任

阿形悦治
岡田八十二
上村久賀次
高橋敏雄
高橋清
田沼亮一
池谷正
伊藤吉之介
橋本博
高橋金藏
松島靜夫
竹内みづ
袴田ちる子
德田利喜三
藤原孫一郎
大隅要
鈴木彌平
袋井支所主任
曾我正雄

伊藤泰一
佐々木義一
相羽左四郎
原田隆一
鈴木清一
石原七郎
山下清次
小原謙治郎
淺倉治郎
鈴木芳平
谷野淺一
高橋正一
石川庄三郎
鈴木照治
松本清作
諸井五平
增田力藏
鷺津榮一
志太支所主任
入野清

TRADE MARK



内外后炭
コークス
販賣

煉炭

製造
發賣元

清水市
鈴與煉炭工場
電話八〇七番

沼津支所主任	富士支所主任	阿井 貞作	淺井 良男	長谷川 俊司	山内 操	片平 金一	淺井 久	鈴木 文雄	增井 重四郎	秋山 武之	伊東 潔	池田 政晴	吉川 富士夫	吉野 高光	大村 てる	上原 敏	佐野 榮郎	杉山 豊
--------	--------	-------	-------	--------	------	-------	------	-------	--------	-------	------	-------	--------	-------	-------	------	-------	------

三島出張所主任	修善寺出張所	賀茂支所主任	渡邊 勉	田中 忠	永島 章一	山本 昇一	吉野 源之助	伊藤 政一	加藤 誠一	鈴木 八郎	齋藤 邦	小川 善次	三田 逸作	小市 野五	小林 龍己	菊池 貢	須田 太郎	田中 雄	中田 國
---------	--------	--------	------	------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	------

松崎出張所
植松 千代
山本 運三
北村 保三
山本 太作

庵原郡實業團體
聯合事務所

(電話六一八番)
伏見 浩四郎
澤山 今藏
源平 貞藏
鈴木 寬一
飯塚 玉雄
蒔田 久一
有谷 保次
望月 松次郎
花澤 政雄
天野 政雄
山本 森後

南洋材委託販賣

日露木材株式會社

本社

東京市麴町區有樂町壹丁目拾番地
三信ビルディング六階
電話銀座代表四、二四七長四、一四八

出張所

大阪市大正區小林町八十番地
電話櫻川二、六二二八
名古屋市中區新柳町三ノ六仁壽ビル
電話本局一、八九八

吉川 勝壽

庵原郡農會

會長 森和
副會長 柴田忍

幹事 望月喜多司

全手 天野謙一

技手 有谷保次

庵原郡
清水市 茶業組合

組合長 柴田忍

副組合長 加瀬澤森太郎

常務委員 勝呂重作

平岡文雄

長澤虎吉

井平活太郎

中川鹿作

岩崎 紫朗

庵原郡
清水市 柑橘同業組合

組合長 杉山銅太郎

副組合長 加藤和作

評議員 角替和一

大野乙次郎

石川万平

牧田泰司

澤野友吉

荒木源一郎

深澤儀八

望月善左工門

井上爲吉

有限責任 不二見信用組合
(電話六四五番)

組合長 大橋清

專務理事 望月眞一

全理事

鍋田 邦次

大石 秀太郎

大石 新太郎

渡邊 延太郎

菊地 金作

大瀧 銀藏

井上 爲吉

望月善左工門

岩崎 紫朗

松本 彌平

齋藤 半一郎

岡田 光三郎

松永 德三郎

杉本 萬吉

齋藤 清次郎

萩原 清次郎

鍋田 延吉

監事

庵原郡 畜産組合

組合長 瀧 貞吉
 副組合長 望月 利作
 全 藤田 清松
 評議員 望月 正作
 望月 直作
 石切山 章

中駿家畜保險組合

井柳 晋吉
 瀧田 安太郎
 望月 定一
 岩崎 長重

駿河中部養鶏組合

聯合會長 堀 辰吉
 副會長 山梨 源太郎
 三保組合長 宮城島 清吉
 折戸 堀 長吉
 駒越(東) 野々村 慧雲
 全(西) 岩崎 喜平
 下清水 山田 良三
 上清水 神戸 榮作
 澁川 橋詰 八郎
 興津 岩城 勝太郎

庵原郡 木炭同業組合

清水市
 組合長 山崎 熊太郎
 副組合長 深澤 義八
 評議員 佐藤 覺太郎
 杉山 直吉

組合長 理事 石上 數雄
 副組合長 理事 八木 鏡市
 全 望月 利作
 理事 若野 幸作
 大橋 藤太郎
 大村 虎藏
 石切山 章
 土橋 龜太郎
 櫻井 吾作
 石上 泰吉
 辻 辨吉
 技師 辻 辨吉

清水市 震災

昭和十年七月十一日午後五時二十五分突如襲來せる激震は一瞬にして全市の平靜を破つて修羅場と化し、家屋の倒壊、壁、瓦の剝落、家具、窓硝子の破壊等々相次ぎ、市民は戸外に飛び出して右往左往し、負傷者續出、通信、交通機關の杜絶、電燈破壊等全市全く恐怖と不安と焦燥の衝と化した。市當局、警察署、消防組、等では直ちに全員の非常召集を行つて應急善處の對策を命じ、先づ被害状況を視察して縣知事に報告すると共に警備と取締りを嚴にし、醫療救護並食糧配給の手に夜を徹した。斯くて翌十二日大石市長は諭告を發して市民の嚮ふ所を明かにし舉市一致を以つて災禍克服に邁進せん事を強調し更に同夜急施市會を招集し災害復舊追加豫算一般會計十四万八千七百二圓、特別會計水道費一万七百九十六圓を計上し鈴木議長以下市會議員十名を以つて臨時災害復興委員を設置する一方罹災救護施設として罹災者收容所設置、醫療施設、焚出し配給等を行ひ、市内一般のみの損害二百五十餘万圓に上る痛手に省みて建築相談所設置、各職人の供給、住宅斡旋、低利資金、住宅資金融通申請、七月納期諸税金延徴方法等の復興に關する施設を行つたが、震災の報傳わるや横須賀より驅逐艦が救援に入港した外各地より義捐金品が市役所宛續々送り込まれて市民を感激せしめた。

御救恤恩賜金

七月十一日當地方を襲へる震災の被害甚大なる趣天聽に達するや
 天皇陛下に於かせられては、痛く罹災者の上を御軫念あらせられ、恐れ多くも御内帑金御下賜を仰せ
 皇后陛下に於かせられては、痛く罹災者の上を御軫念あらせられ、恐れ多くも御内帑金御下賜を仰せ
 出され給ひ、八月五日本縣知事を経て傳達の御沙汰を拜したので、本市では大石市長が縣に出頭謹ん
 で拜受した。
 本市では恩賜金拜受御禮言上に關し、七日午前十一時急施市會を開會、大石市長より恩賜金拜受の
 報告があり、御禮言上書捧呈に付ては滿場起立、嚴肅裡に可決確定午後零時十七分閉會した。市會の
 決議に依り大石市長、鈴木市會議長は九日宮内省に出頭宮内大臣に御禮言上書執奏を乞ふて歸清した
 恩賜金傳達式は七日午后一時より清水市公會堂に於て執行され、恩賜金拜受者五百四十七名、市會
 議員各區長等來賓として參列、先づ宮城に對し奉り遙拜、國歌合唱後大石市長より恩賜金の傳達を行
 った。

震災被害状況
 住家

區域別	全壊	半壊	破損	計
江津	二元	三元	七三五	七九七
入江	二元	一元	一、七四八	一、八八五
江尻	三元	七三	一、〇八六	一、一八九

清	不	三
水	見	保
計	二	計
五	五	九
一五	二八	三五七
一九〇三	一、三三九	六、七一〇
二、〇三三	一、二七三	七、一六五

一般損害見積額

區別	被害戸數	損害見積額	商品積損額	計
商業	二、九一九	五四三、七〇〇	五八三、八〇〇	一、一三七、五〇〇
工業	一、八〇〇	五〇七、〇〇〇	—	五〇七、〇〇〇
農漁業其他	二、四四六	六四九、三〇〇	二二六、二〇〇	八六五、五〇〇
計	七、一六五	一、七〇〇、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇

此の外道路、橋梁、水道、清水港岸壁、市有營繕物、神社佛閣等の被害は甚大にして特に清水港岸壁
 は内務省にて復舊を計画中であるが百六十萬圓と三ヶ年の歳月を要する見込みである。

地震の綜合的考察

沼津測候所技師 島村 鼎

今回の震央は器械観測と實地踏査の結果を綜合すると東經三十八度二十六分北緯三十五度五十七分即静岡市の南東部有度山、久能山等を含む山塊の西部で、大谷附近と推定し、震源の深さは極めて浅く六軒乃至七軒程度であることが推算できる。元來此種の地震は地殻の上に加はる壓縮力が極限に達し地塊は此の蓄積した歪を緩める爲め地殻構造上の弱線を境に運動するもので、今回の發震機構も濱松の北から震央地の海岸線に沿ふて沼津の北を通る線に北方の地塊は西南西に、南方の地塊は東北東に變位せしことが窺はれる又主要動も大谷高松に於ける家屋の倒壊方向よりして大休東北東から西南西の振動が最も強かつたことが想像出来る。然し袖師附近では一部の家屋が北乃至北西に傾き居るを見て此の方面は大休南北振動が可なり強かつたことと思ふ。又被害の程度は地盤の強弱と關係が深く震央地附近の大谷、高松は地盤軟弱なりしにより被害激甚を極め、北方の離れた部落に被害可なり甚しかりしは同地方は有度山塊と其西にある有東、八幡山等の諸丘陵となす環狀地溝帯中にあり地盤軟弱なりしが爲ならん、更に有度山の崩壊に就ては同山の基部は粘土質岩であるが、最上部は厚い砂礫層で、ロームを以て覆はれ山骨と稱する岩石なく加ふるに山塊の南斜面は斷崖絶壁となつて居るので山崩を容易ならしめたものである。斯くの如き地質と地形を有するに依り今後も崖縁は注意を怠つてはならない。該地震に關係して吉奈温泉の湧出量が僅かに増加したが漸次平常に復して居る。今回の地震は前震と認むべきものは更でない。

又餘震も至つて尠く十六日まで沼津では僅か四回に過ぎざりしは聊か過少の感なきにあらざるも是れは規模大ならざる小區域の烈震なりしたためなるやも知れない。

尙本地震に關係して今より九十四年前即ち天保十二年静岡、清水間に久能山地震あり或は今回の地震と同系統のものならんか。

縣會議員選舉

本縣々會議員選舉は昭和十年十月十四日執行されたが定員四十七名に對し立候補數七十六名に及び清水市は二名の定員に四名の立候補がめり激戦を交へたが一般的には選舉肅正運動の徹底から會て見る事の出来なかつた理想選舉が行われた。而して開票結果は、庵原郡と静岡市は無投票當選となり新議員の分野は政友會二十四、民政黨二十、中立二、社會大衆黨一となつた。

縣會議員	
清水市	山本正治(民)
庵原郡	山田勝四郎(政)
静岡市	三上陽三(民)
	原榮作(政)
	山田順策(民)
	水谷團治(政)
	鈴木信雄(政)
	稻葉誠次(民)
	鈴木政太郎(民)
沼津市	山本立太郎(民)
濱松市	岩崎豊(民)
	加藤七郎(政)
	高柳彰(政)
	鈴木勝太郎(民)
	佐野常右衛門(政)
	小松勇次(民)
	大村直(民)
	中村長五郎(政)
	城所長六(中)
	森信吾(政)
富士郡	山崎劍二(社)
	室伏辰次郎(政)
	金子彦太郎(政)
	影山滋樹(政)
	秋山忠平(政)
	森應助(政)
	加藤弘造(政)
	大塚甚之助(政)
	塚本鱧三(民)
	池ヶ谷榮太郎(民)
	細川幸一(民)
榛原郡	

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 山本敬三(民) | 小笠郡 | 井浪茂三郎(政) | 坂下仙一郎(民) |
| 中村直次郎(政) | 檜原郡 | 岡本敦平(民) | 飯塚榮隆(政) |
| 酒川敬三郎(民) | 山崎好知(民) | 榛葉忠藏(政) | 坪井龜藏(政) |
| 岡本保次(政) | 鈴木六郎(政) | 山崎好知(民) | 森口淳三(中) |
| 大角愛治(政) | 鈴木米太郎(民) | 鈴木米太郎(民) | |
| 平野市郎(民) | 濱名郡 | 引佐郡 | |

庵原郡要覽

通 観

庵原郡は駿河の中央に位し東は富士川の急流を隔て、富士郡に相對し、北は山梨縣南巨摩郡に隣り西北に龍爪山及び巴川を西に流れて安倍郡と境し南一帶は駿河灣に面して東西二三、〇一八軒南北二四、一〇九軒に及んで居る。

沿革は古來蘆原郡と稱せられたが景行天皇の御代庵原の郡となり代々郡司を置いて治を司らしめ、文治元年三浦義村守護となり、建武中興脇屋義助が此の地を領した。足利時代に至つて今川範國守護となつたが後武田信玄の所領となり次いで徳川家康の領する所となつた。元祿中瀧脇信治が本郡小島

村に封ぜられて一萬石を食み一部其の所領となり其他は撫本寺社の領とされ其の高は二萬一千七百七十一石とされた。後徳川家達の封となつたが藩籍奉還に及んで靜岡縣知事の治となり明治十二年郡役所を置き郡長を任じ同二十二年市町村制を施行し二十九年には郡制を施行して地方自治の制度が定まつたが大正十二年郡制は廢され同十五年郡役所廢止となつて現在に及んで居る。

而して同郡は四町九村合計十三ヶ町村に分ち戸數は約一三、三〇〇戸、人口は男四二、〇〇〇人、女四一、〇〇〇人、合計八三、〇〇〇人となる。又小學校は十九校あり兒童數は尋常科、高等科を合して一萬六千餘に達して居る。

各 種 團 体

- | | | | |
|-----------|-------------|--------------|--------|
| 町村長會 | 在郷軍人聯合會 | 富士川分會長 | 常盤 稔 |
| 會長 柴田 忍 | 會長 井平七太郎 | 蒲原分會長 | 大野 乙三 |
| 副會長 深澤 方中 | 副會長 風間 浪之助 | 由比分會長 | 古牧 謹一郎 |
| 小學校長會 | 全 事 大加 亮 谿 | 興津分會長 | 大賀 亮 谿 |
| 會長 久米 佐門 | 主 事 伏見 浩四郎 | 小島分會長 | 堀池 登譽司 |
| 副會長 丸尾 熊藏 | 內房分會長 渡邊 金男 | 兩河内分會長 昌 直一郎 | |
| | 松野分會長 白 井 博 | 庵原分會長 杉山 保男 | |
| | | 袖師分會長 青木 勇作 | |

飯田分會長 遠藤 啓治
 高部分會長 田島 勝太郎
 西奈分會長 玉川 新一
 飯田分團長 望月 貞義
 西奈分團長 杉山 定夫
 青年團
 總裁 原 榮作
 團長 松永 益作
 副團長 久保田道太郎
 內房分團長 中谷源太郎
 松野分團長 望月 貞義
 富士川分團長 谷津倉寅一
 蒲原分團長 平岩 東一
 由比分團長 山内 準平
 興津分團長 青木 積二
 小島分團長 山本 惣
 兩河內分團長 大榎 長作
 庵原分團長 杉山 保雄
 袖師分團長 田淵 芳治郎
 女子青年團
 團長 柴田 しげ
 副團長 西ヶ谷 阿茶
 全望月 とし

名譽職員

內房村
 村長 遠藤 亮
 助役 望月 保治
 收入役 望月 桂
 村會議員(定員十二名)
 佐野源之助
 字佐美玉五郎
 遠藤 市保
 辻村 三保
 森 尙三
 森 延太郎
 望月 喜代造
 風間 佐一
 松野村
 松野 村
 望月 長作
 望月 元次郎
 望月 定一
 白井 和吉
 影島 林作

收入役 宇佐美 廣
 村會議員(定員十二名)
 望月 麟作
 望月 郷作
 望月 運平
 木伏 運平
 稻葉 廣吉
 佐野 義策
 小林 文次郎
 手島 伊之助
 石川 濱吉
 風間 卯之吉
 小川 喜作
 兩河內村
 村長 米澤 清七郎
 收入役 山本 元一郎
 村會議員(定員十八名)
 望月 壽三郎
 柴山 久一郎
 深澤 慎作
 大熊 金作
 森田 喜作
 深澤 陸太郎
 望月 孝平
 池田 惣作
 北條 嘉吉
 中山 義雄
 清水 熊市郎
 瀧澤 次郎
 望月 喜勝
 山梨 久米吉
 旭彦 重郎
 平垣 太郎
 竹垣 武
 石垣 喜兵衛
 島村
 深澤 方中
 加瀬澤龜太郎
 青木 輝太郎
 深澤 方中
 深澤 儀八
 鈴木 友吉
 一ノ宮 長作
 望月 喜多司
 平岡 文雄
 深澤 庄次郎
 片平 清輔
 望月 兵一
 鈴木 敏一
 望月 利一
 山田 重藏
 瀧田 貞吉
 北條 照信
 池ヶ谷 隔太郎
 山本 新作

望月 隆治郎
望月 保策
原 樹
和田 菊太郎
石川 庄七郎
池田 晴次郎
原 表吉郎
岩邊 龜太郎
小澤 甚平
平野 敏
木月 作次郎
司田 武司
望月 由松
久保田 松次郎
青木 源作
石川 烈三郎
望月 仙太郎
深澤 熊吉
河西 故六

町長 興津町
助役 田中秀夫
收入役 土谷覺太郎
町會議員(定員十八名)
飯田勝五郎
薩埵國吉
高山兵吾
青木愛次郎
柿澤那吉
伏見熊藏
八木利平
青木喜一郎
加藤和作
山梨幸一郎
山梨清

田中辰治郎
松永益
手塚和七
杉山謹一
内藤泰太郎
望月貞次
佐野巖
原村
牧田誠一
國持彌重
村上源六
望月友次郎
岩川睦藏
伏見充造
西谷喜三郎
小川金作
白鳥金一

瀧常五郎
加瀬澤森太郎
富士川町
町長 若槻正作
助役 齋藤 蕪
收入役 芹澤忠二
町會議員(定員十八名)
望月宙一
花田平作
花田保作
丸山彦之助
齋藤 繁
植松三代治
常盤松雄
齋藤金平
鹽坂淺二郎
尾崎初二郎
渡邊竹藏

齋藤仁三郎
坪内金作
齋藤重四郎
望月卓三
若月幾太郎
角替和一
谷津倉春吉
蒲原町
町長 志田孝而
收入役 小長井為吉
町會議員(定員十八名)
小林彦太郎
岩邊彌之助
内田竹次郎
吉田次郎
小笠原又吉
山崎鶴治郎
吉田繁作

望月新信
草ヶ谷好太郎
大岩好太郎
磯部定吉
三好文吉
志田定太郎
志田孝而
宮永應舉
久保田敏男
高柳秀作
堀内直作
比町
原保太郎
芹澤靖一
和田源一
町會議員(定員二十四名)
鈴木藤兵衛

訓 校
導 長
藤 加 加
原 藤 藤
周 新 喜
一 郎 太
郎

內房尋常高等小學校
(電話內房四番)

小 學 校 職 員

中 望 市 大 田
谷 月 倉 倉 中
夕 次 順
カ 男 清 一 正
エ

望 望 遠 望 望
月 月 藤 月 月
節 あ イ 榮 駒
子 い マ エ 子 雄

村 會 議 員 (定員十二名)
梅 澤 祥 司
藤 牧 常 吉
片 平 義 一
伊 藤 己 代 治
生 子 重 次
岩 崎 理 佐 久
石 原 榮 作
杉 山 一
設 樂 壽 雄
大 木 源 七 郎

村 會 議 員 (定員十二名)
荒 木 源 一 郎
山 內 隆
奈 村
中 川 鹿 作
天 石 勇 藏
玉 川 福 太 郎
收 入 役 村 會 議 員 (定員十二名)
村 長 西
助 役 中 川 鹿 作
收 入 役 天 石 勇 藏

望 中 望 望
月 川 月 月
大 和 十 郎
次 友 藏
郎 作 作
望 古 古 天 堀 櫻 三 中 望
月 林 本 石 越 井 浦 川 月
銀 作 大 信 金 善 友 和 大
次 五 大 一 一 作 作 藏 十 次
郎 郎 吉 郎 郎 郎 郎 郎 郎

村 會 議 員 (定員十八名)
新 間 常 造
收 入 役 牧 田 新 作
助 役 大 內 要 吉
村 長 柴 田 忍
袖 師 村
杉 山 浪 太 郎
三 上 陽 三
高 田 善 三
乾 正 福
乾 鋼 太 郎
杉 山 泰 司
牧 田 金 作
青 木 久 太 郎
天 野 久 太 郎
杉 山 準 作
牧 田 小 兵 衛
國 持 富 太 郎

飯 田 村
片 平 活 太 郎
田 村 榮 作
深 澤 兔 志 太 郎
吉 田 勇 作
市 川 虎 藏
大 西 安 吉
山 崎 逸 作
鈴 木 爲 吉
大 內 要 吉
鈴 木 莊 助
遠 藤 成 吉
鈴 木 福 治
澤 野 七 郎
矢 入 織 藏
望 月 文 次 郎
澤 野 友 吉
村 田 竹 藏

助 村 收 入 役 佐 藤 松 次 郎
役 長 高 部 村 杉 山 健 吉
齋 片 平 佐 吉
齋 片 平 佐 吉
服 部 忠 平
吉 川 禎 太 郎
片 平 活 太 郎
關 敏 夫
高 田 宇 作
松 永 廣
杉 山 武 七
小 田 切 順 太 郎
津 田 喜 三 郎
山 梨 勇 作
水 野 幸 作
澤 井 龜 吉
村 會 議 員 (定員十二名)
收 入 役 杉 山 健 吉

代准
用訓

森田伊太郎	柿田とみ	杉山とち	植田とよ	杉山藤太郎	石井喜與子	關井光	杉山とく	勝田健二	生形みは	國持静江	手塚菊枝	吉川勝久	岡本宣平	太田淳一	中根邦太郎	町田喜一郎	鈴木與三郎	若林與三郎
-------	------	------	------	-------	-------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------

訓校長		小島尋常高等小學校 (電話小島一四番)		全科醫		齒科醫		看護婦		柴本勝彌		小栗幹		大石義夫		角田一司		薩川伴郎		山梨信太郎		河村又二		富樫寛治		藤浪いし	
大石隆策	福島富次郎	内海幹三	望月馨	飯田健太郎	野引正	吉田秀太郎	吉田秀太郎	野引正	飯田健太郎	望月馨	内海幹三	福島富次郎	大石隆策	大石隆策	福島富次郎	内海幹三	望月馨	飯田健太郎	野引正	吉田秀太郎	吉田秀太郎	野引正	飯田健太郎	望月馨	内海幹三	福島富次郎	大石隆策

校准		訓校長		小島尋常高等小學校		校醫		小澤博		淺野きみ		望月ミネ		堀池てつ		堀池てつ		里見一		高田恒利	
中島一雄	酒井美代子	望月正明	山本はる	松浦富士夫	大石農夫	中田きく	杉本薫	水越牧男	山梨謙造	信澤博	淺野きみ	望月ミネ	堀池てつ	堀池てつ	里見一	高田恒利	高田恒利	里見一	高田恒利	高田恒利	

訓校長
導長

由比尋常小學校

(電話由比七八番)

天石動	菅沼隆	大石賢次	大城律美	松浦完一	佐藤恒次郎	辻村廣踏	久保田陣太郎	原田良之輔	平岩東一	川口滋太郎	加藤源一	松浦くに子	美濃部正	中野演子	原榮作	原榮作	柴山ふき	望月文	原末子	伏見とみ	久保田くす	原田きみ
-----	-----	------	------	------	-------	------	--------	-------	------	-------	------	-------	------	------	-----	-----	------	-----	-----	------	-------	------

校代		訓校長		入山尋常小學校 (電話四〇番ノ乙)		校代		醫用		原榮作		柴山ふき		望月文		原末子		伏見とみ		久保田くす		原田きみ	
天石動	菅沼隆	大石賢次	大城律美	松浦完一	佐藤恒次郎	辻村廣踏	久保田陣太郎	原田良之輔	平岩東一	川口滋太郎	加藤源一	松浦くに子	美濃部正	中野演子	原榮作	柴山ふき	望月文	原末子	伏見とみ	久保田くす	原田きみ	原田きみ	

訓校長
導長

興津尋常高等小學校
(電話興津一七番)

高山たき	黒田弘	里見尙	藤崎毅	加藤とよ	袴田源一	大見緑	山本璋	田川と松	桐谷菊	島津幸次郎	藤田秋太郎	伊藤正義	白井富男	袴田萬治郎	久米佐門
------	-----	-----	-----	------	------	-----	-----	------	-----	-------	-------	------	------	-------	------

訓校
導長

早瀬	小長井	酒井	國持	片岡	石本	望月	俣平	池田	鈴木	雪島	加藤	山田	田中	杉浦	漆畑	福島	佐藤	白井
和江	しづい	けいと	こく	誠一	八郎	宗平	文夫	佐一	伊藤	藤治	庸	良作	義太郎	智教	勇作	義詮	一郎	恒雄

袖師尋常高等小學校	訓導	准訓	訓導	齒科	校醫	代用	西子	坪井	石渡	小笠原	小池	加藤	佐藤	小長井	三上	渡邊	杉山	杉山	川端	遠藤
	一太郎	しげる	育三	敏雄	陽三	いせ	たみ	恭二	清光	ふみ	恭二	精作	清光	清光	陽三	敏雄	育三	育三	しげる	一太郎

訓校
導長

望月	稻葉	市川	鈴木	森竹	永倉	松永	長澤	篠田	澤田	久保田	楠見	朝川	川本	千葉	小花	山田	影山	田淵
昌一	りん	登里	照子	政次	歌子	永	峰二	睦雄	幸子	辰夫	右四郎	三良	秀良	不二夫	義郎	明吉	芳治	

穴原尋常高等小學校

訓導	鈴木	瀧	森	西原	芦澤	瀧	池上	野月	中島
敬太郎	木敬太郎	龜代松	龜代松	虎次	廣治	廣治	千代子	タマ	一雄

校代
醫用

野月	池上	瀧	瀧	西原	芦澤	瀧	池上	野月	中島
タマ	千代子	廣治	廣治	虎次	廣治	廣治	千代子	タマ	一雄

和田島尋常高等小學校

(電話和田島一番呼)

訓校
導長

野中	鷺見	栗林	石垣	深澤
卓爾	義雄	平一	喜代至	玉枝

代用	八木	塚口	平垣	細川	宮原	中河内尋常高等小學校	杉山	望月	久野	野々垣	村松	望月	大熊	野島	海野	宮原	西河内尋常高等小學校
芳雄	文代	四郎	四年	菊一	菊一	武夫	彌太郎	助十	文谷	忠雄	忠雄	わか	鈴子	常明	操	菊一	西河内尋常高等小學校

訓校
導長

深澤	大熊	加茂	小島	望月	岩澤	荒井	梶村	山本	望月	中山	中山	平垣	朝川	安井	庵原尋常高等小學校	影山	山田	小花	千葉	川本	朝川	楠見	久保田	澤田	篠田	長澤	松永	永倉	森竹	鈴木	市川	稻葉	望月
清一	尊彦	喜平	秀三	力	隆	わか	修一	ふじ	みよ	をさ	静子	四郎	頼太郎	きよじ	庵原尋常高等小學校	明吉	義郎	不二夫	秀峰	三良	右四郎	辰夫	博	幸子	睦雄	峰二	永	歌子	政次	照子	登里	昌一	

(電話庵原四番)

代用 校醫 訓導長

山田美智男	長倉ヒサ	内山いし	神山瞭	佐野きよ子	山口せい	坂井貞三
-------	------	------	-----	-------	------	------

飯田尋常高等小學校

准用訓 校醫

加茂幸五郎	橋詰壽子	加藤とみゑ	武田ヨシ	伊藤志眞	荒木るい	大木壽雄	杉山健司	松永茂助
-------	------	-------	------	------	------	------	------	------

高部尋常高等小學校

准訓 校醫

小泉きん	森見喜久	富賀見實	前川善太郎	荒木善太郎	齋藤或	大川やゑ子	片岡數重	清水みつ子	池田みき	桂木剛
------	------	------	-------	-------	-----	-------	------	-------	------	-----

西奈尋常高等小學校

訓導長

青山泰介	原邊良太郎	渡邊英之	石川嘉喜次	伊藤宗孝	佐藤嘉次
------	-------	------	-------	------	------

商工會議所有權者一級

料理旅館	辻	富田芳藏	小田切エ	大場圭太郎
------	---	------	------	-------

清水市商工人名錄

山田誠司	鈴木眞平	佐々木清	繁田けい	松永正男
------	------	------	------	------

渥美とら	杉澤富子	柴田久策	望月きん	勝亦秀三
------	------	------	------	------

分場

望月吉正	望月染藏
------	------

全材木	小澤鐵平	阪上政次郎	望月竹次郎	久保田宰司	菊地忠次郎	鈴木政七
-----	------	-------	-------	-------	-------	------

酒釀造	伊豆川常造	佐藤覺次郎	池上彌治郎	片山芳藏	小林保太郎	長谷川誠治郎
-----	-------	-------	-------	------	-------	--------

乾物 長田 泰
 吳服太物 富士 誠一
 吳服太物 風間 誠一
 吳服太物 藤谷 秀作
 酒釀造 岡田 大三
 吳服太物 義村 勝重
 紙製原料 太田 循
 米穀 山本 三作
 全糖粉 山本 惣吉
 砂糖粉 野村清右工門
 料理 府川 鐵藏
 石炭 小鹽 幾松
 金網製造 上清水 長澤 重兵衛
 金錢貸付 水野 常太郎
 人夫請負 村岡 源次郎
 清涼飲料醬油 清水 渡邊 清吉
 料理 柳川 彦太郎
 飼料雜穀 望月 貞策
 杉山 鐵次郎
 島山 慶吉
 片山 貞二
 中村 竹次郎
 西田 伊之藏
 原 台吉
 淺原 恒吉
 杉山 虎藏
 伊藤 德太郎
 鐵工 港町 辰藏
 葉子 龍崎 福三郎
 石炭瓦薪炭 堀崎 福三郎
 肥料 築地町 政十
 肥 萬世町 柴田 準藏
 セメント 萬世町 柴田 準藏
 飼料雜穀 入船町 小野 壽一郎
 罐詰 後藤 磯吉
 石炭回漕 鈴木 與平
 旅館料理 杉本 權四郎
 自動車販賣 杉本 敬一
 釣針 村上 貞治
 酒類飲料水 鈴木 惣作
 製材製函 駒越 伊治郎
 倉庫 清水倉庫株式會社
 運送 青木運送株式會社
 船具 駿遠商事株式會社
 魚市場 株式會社清水魚市場
 船具 株式會社片山船具店
 銀行 株式會社伊豆銀行

石炭木材 三井物產株式會社
 雜穀 靜岡電鐵株式會社
 軌道 日本食料工業株式會社
 製氷 新港町 清水木材株式會社
 材木 清水運送株式會社
 運送 豐年製油株式會社
 製油製肥 入江町 株式會社巴川製紙所
 製紙 株式會社清水青果
 青物市場 乾物市場
 果物市場 江尻 東京電燈株式會社
 電力供給 辻 株式會社駿洲銀行
 銀行 龍中材木株式會社
 製材製函 清水瓦斯株式會社
 瓦斯供給 株式會社望月兄弟商會
 肥料雜穀 株式會社駿河銀行
 柑糖 株式會社駿河銀行
 銀 行 株式會社駿河銀行
 土木建築請負 合資會社勝呂組
 萬世町 東海南船株式會社
 入船町 鈴與倉庫株式會社
 倉庫 清港木材株式會社
 材木 株式會社清水木材
 材木保管株式會社清水木材
 材木 株式會社北海木材商會
 築地町 清水食品株式會社
 罐詰製造 富士見町 清水水產株式會社
 罐詰製造 株式會社三十五銀行
 銀行 清水 株式會社中棗酒店
 酒酢醬油 山梨肥料台資會社
 肥料 上清水 天龍製材株式會社
 製材 松原町 天龍製材株式會社
 製材 合資會社橫山製材所
 駒越 福島製材合資會社
 三保 日本石油株式會社
 造船 合資會社金指造船所
 石油 日本石油株式會社
 洋服裁縫 石橋 八雄一
 西洋料理 井上 こと
 料理 濱田 婦み
 土地家屋周旋 外岡 英太郎
 雜木 和田 麻吉
 飼料肥料 竹原 一吉
 蕎麥 中島 政一
 壽司飲食 山脇 政一
 豆腐 古川 清次郎
 寫真 平野 英治

洋服裁縫	眼鏡貴金屬	足袋靴煙草	藥種	半襟	小間物	吳服太物	綿フトン	運動具	洋品	書籍雜誌	洋物	果物	金物	樂器	靴器	茶器	洋品	下駄
伊藤綾太郎	春田政藏	風間常次郎	田代豊作	山田吉次郎	山田道一	前川元夫	松永喜三郎	小林亮爾	坂本甚松	平岡愛司	高田庸雄	中西市太郎	山中榮太郎	山口貞夫	柳澤政三	宮川淳八郎	三保清	森島長作
飲食	洋物洋品	寫眞	寫眞	小間物化粧品	肉類	綿類	文房器具	電氣器具	ヘルト機械	寫眞	肉類	洋品	製函	古物	瓦製	石油	米穀	履物
山本梅太郎	又平森一	鍋田清七	山梨和作	西郷	篠崎しやう	望月光三郎	橋川左工門	齋藤彦左門	下村静枝	鈴木謙造	杉山謙造	西田政治	戸塚貞一	大石民藏	小澤隆作	小笠原徳次郎	大内彦太郎	岡田忠作
金銭貸付雜貨	宿屋	蕎麥	吳服太物	履物	足袋洋品	陶磁器	菓子	自動車食堂	桶	料	全	建築請負	米雜穀	傘製	瓦製	米穀	藥種	吳服太物
川村鎮吉	加藤演吉	高塚圓太郎	中村新太郎	上野謙三	上田伊之吉	山岸威	藤波光雄	藤波美世治	近藤新太郎	坂本そ	佐藤寛吉	望月淺吉	望月新吉	杉山耐作	杉山徳次郎	杉山銀藏	鈴木幸三郎	鈴木幸三郎

材木	酒類	請負ペンキ	綿	書籍雜誌	酒類	酒類飲食	米雜穀	全	洋家具	氷	小間物化粧品	家具建具	家具	硝子	寫眞	洋酒食料品	醬油醸造	藥種	
西澤三藏	西川喜太郎	堀谷又藏	富崎敏子	戸田卓	沼田嘉十郎	大内まさき	川口つる	兼高庄作	内藤貞太郎	山崎とめ	山崎巳之助	前田源次郎	松永節	伏見武彦	伏見じゆん	伏見清四郎	伏見治三郎	小長井鎌太郎	
洋品	菓種	柑橘	鳥肉	乾物製餡	家具雜貨	壽司飲食	自動車	時計貴金屬	折箱	藥種	家具タンス	製磁器	陶磁器	製材	酒類	米穀煙草	靴	乾物青物	
芹澤市造	神原嘉吉	佐藤廣三郎	佐々木長次郎	眞田良一	眞田千代	眞田篤太郎	柴田篤太郎	鈴木登吉	杉山孝	堀芳太郎	興津喜代三	大如英男	大瀧亮一郎	渡邊實三郎	川島松藏	中村兼次	松永虎藏	佐野享三	佐津川要介
製餡	洋品煙草	洋服裁縫	米雜穀	料理飲食	金物砲金	米雜穀	茶柑橘	文房具印刷	西洋料理	既製服	汁粉飲食	洋品	井飲食	袋物眼鏡	旅館	時計貴金屬	陶磁器	子供服	
水野石太郎	三保久三郎	遠藤重松	樋口民次郎	望月彌作	芹澤鋭市	杉山伊兵衛	望月伊作	磯田長作	石上つや	寛源一	伊達徳次郎	武士さだ	山下茂平	手塚三二郎	寺尾熊二郎	佐藤清三	平野はな	平岡条次郎	

綿布團	小坂松太郎	鐵工	鈴木桂一	製材	清水新一
土木請負	青木理吉	元追分	太田直太郎	製粉精米	風間平六
紙煙草	相山久作	米穀	府川三吉	金錢貸付	江川ゑい
染物	齋藤孝太郎	羊羹	府川とし	玩具	佐藤綾太郎
陶器瓦卸	渡邊重孝	柑橘	鈴木寅吉	土木請負	齋藤三郎
料理	佐藤長吉	香等製造	藤下菊松	下駄	森川三郎
豆腐	佐津川良吉	瓦	望月幸太郎	人夫請負	森源八
土木建築請負	櫻井康弘	米穀砂糖麵類	望月幸太郎	菓子	杉本重吉
石鹼製造	齋藤雅男	上清水	柳音吉	藥種	鈴木熊雄
製材製函	酒井金作	材木葺雜貨	大村治郎吉	空樽屑物	長谷川松藏
藥種	湯山高茂	乾物雜穀	神戶八郎	薪炭	神戶直太郎
材木醬油	三浦紋次郎	味噌	山田孫一	魚穀	田形太惣吉
自動車運送	白井與一	雜貨煙草	岸川榮太郎	米穀	山崎作太郎
漆器	鈴木真治	洋服	望月重郎	酸素瓦斯	松下榮之助
金錢貸付	水野鐘作	菓子	望月平太郎	醬油食料品	柴田隆吉
保險	三木愛三郎	鐵工	杉本梅藏	酒類	石野源七
材木	宮地源吉	綿工	柴田彌作	印刷	西貝真吉
藥種	眞長兵衛	米穀	杉山勝三	酒類文房具	山本量平
金錢貸付保險代理	望月久吉				

米雜穀	林安次郎	電氣器具	深澤榮	家具建具	小長井豐司
醬油	橋本誠太郎	綿織物	栗田當三郎	家具指物	小長井喜作
柑橋果物	堀萬吉	小間物玩具	青島富太郎	製函材木仲立	原川周次
製材	高木菊次郎	入江	池田三作	自動車修繕	岡村峰吉
染物	土屋正三郎	家具製函	池田三作	石材	高田善太郎
米穀煙草	土屋市郎	洋服裁縫	井上惣一	塗料製造	長島銀藏
飼料雜穀	山田勝次郎	洋品	大川清一	醬油釀造	宇佐美良三郎
米穀木炭	平野虎吉	鐵工	太田直太郎	米穀煙草	栗田義一
洋品	田島令一	塗下駄卸	小原龍一	履物	久保山勉三
建具	高木幸吉	時計貴金屬	高村良吉	小間物卸	久保田勝五郎
塗下駄	高橋鐵吉	仕立物洋物	大内誠作	化妝品	黑田德次郎
米穀	長澤惣吉	米穀綿	若杉熊吉	吳服太物	矢口莊吉
乳母車製造	鍋田總	葬具佛具	河井恒次郎	鼻緒製洋服	山口政次
綿織物	三田覺太郎	魚	杉山虎藏	鐵材	山本格太郎
醬油釀造	稻葉まさよ	金錢貸付	井上うめ	金物硝子器	山田幾太郎
肥料	鍋田貞太郎	吳服太物	池田三作	金錢貸付	前島はる
文房具	堀三吉	家具製函	河野竹次郎	綿織物	伏見松次郎
全子	兼高鐵太郎	酒釀造	河野強作	吳服太物	福士狎一

茶乾物青物	柴田金八	洋品	石月誠	足袋シャツ	山本増治
藥種	鈴木一	魚	池上國藏	西洋料理	三保まさ
書籍雜誌	望月壯吉	貨物自動車	池田萬吉	仕立物足袋	山本増治
人夫請負	岩崎林之助	紙	長谷川菊太郎	肉類	山本百田
菓子	松井町	船具魚網	堀江真榮	自轉車自動車	山田寛一
全米穀	石野安太郎	石氣器具	西田源次	魚	山田福太郎
瓦米穀	川口惣作	電氣器具	北條源次	土木建築請負	松浦徳藏
酒類	釜崎鐵藏	書籍	小關忠之	酒類	古川武男
全米穀	増田良一	自動車	大石六太郎	魚	遠藤牛藏
酒類	佐野六次郎	煙草酒	高山辰次郎	酒類煙草	寺尾徳藏
貨舟類	長橋郁三	石油油類	大倉金一	靴	天野三太郎
金魚	飯沼兼吉	洋服	中山源吉	米穀	青木祿次郎
全物	木口重作	時計	山本重吉	漬物	佐野憲二
酒類	木口重作	文房具	山本幸吉	金物雜貨	北村安太郎
類	宮田龜吉	カフエ	山本徳太郎	支那そば	北村廣吉
經節海苔	石野乙吉	製材	小澤惠次	回漕	北村廣吉

各種ベニヤ板製造

年産額二千萬平方尺



野田製材所



野田製材所ベニヤ部

静岡縣岩淵

電話 工場 三三六番
 自宅 三六一番
 振替口座東京 一四四一番

紙袋	井柳	かつ	旅館	瀧戸	葉子	望月
既製洋服	伊藤	義郎	肉類	中川	古銅鐵	森下
石炭	伊藤	房吉	雜穀	漆畑	全	森島
肥料	服部	規矩郎	支那料理	久保田	米穀煙草	森島
米穀	堀口	五郎	肥料米穀	山内	カフエ	鈴木
壽司飲食	堀口	屋壽恵	家具	山本	西洋洗濯	松原町
菓子	本間	光	肉類	丸山	肥	岩佐
電氣器具	小澤	岩太郎	竹材	丸山	鑄物鐵工	片岡
小間物化粧品	大石	ふさ	金錢貸付	遠藤	酸素溶接	大村
履物	大内	久次郎	自動車	青島	魚網製造	片山
自動車運送	太田	幸吉	砂糖乾物	深澤	浦	中村
酒類	風間	久作	材木	遠藤	飲	久保山
酒類飲食	川村	藤平	西洋洗濯	雨森	製	山本
柑橘	川口	熊次郎	肥料雜穀	荒井	鐵	北川
乾物	米澤	勤一	藥種	佐々木	肥	青木
洋服	田中	藤作	貴金屬眼鏡	佐野	工	青木
製材器具鋸	田中	明作	材木	坂本	料	青木
洋服	田邊	建次	全	北川	米	青木
土地家屋周旋	栗田	與作	全	平井	穀	青木

薪炭古物	森	鉄藏	米雜穀	安形	米穀煙草	長島
洋品	杉本	榮吉	鳥肉	辻政	鐵工	中野
魚	杉本	重吉	硝子	川島	自動車	松野
西洋料理	池田	ちよ	築地町	朝一	肥料仲立	松永
自動車	飯沼	武熊	海野	金作	竹材	古川
青物乾物	所龍	武さく	山井	仲幸	米穀	湖東
蕎麥	大龍	さく	角井	源八	繩	後藤
人夫請負	風間	米吉	山本	源八	鐵工	小長谷
米穀魚餌	片山	吉	寺田	喜代	西洋料理	齋藤
米穀	片山	吉	入船町	敬一	人夫請負	齋藤
全	竹下	松藏	杉本	敬一	鐵工	齋藤
船具	土谷	浩平	加藤	花子	運送	酒井
經節	山田	龜吉	深澤	兼吉	給	水口
青果茶	山本	清次	服部	孝作	海	芝野
煙草雜品	小林	松太郎	奥林	近三	製	萬世町
旅館	出口	安太郎	石田	長馬	材	仲井
油類空罐	白鳥	茂作	谷寅	寅吉	菓子	小松
鐵工	鈴木	和一	宗野	銚一	建	庄司
機械工具ベルト	山本	松次郎	野銚	一	館	引馬

人夫請負 增田 伊八
 金錢貸付 藤田 清松
 料理旅館 遠藤 吉藏
 造船 櫻田 直藏
 全 三浦 寅吉
 醬油釀造 宮城島 元次
 壽司飲食 下坪 宗三
 酒釀造 宮城島 重男
 金錢貸付 窪田 清藏
 飲食 關口 重雄
 料理旅館 望月 兼吉
 柑橘野菜 鈴木 啓作
 全 鈴木 宗作
 柑橘 辻
 自動車 合資會社石月商店
 自動車 合名會社江鐵自動車商會
 自動車部分品 合資會社セイコ自動車商會
 米 雜穀味噌 合資會社井出商店
 江尻
 鹽 駿遠鹽業株式會社
 印刷 合資會社盛光堂印刷所
 自動車部分品 合資會社眞砂屋商店
 經節 丸一合名會社
 醬油ソース 合資會社望月商店
 製紙原料古銅鐵 合資會社金原商店
 醬油 中村醬油株式會社
 燐寸製造 清水燐寸合資會社
 石灰硫黃合劑製造 合資會社マルキタ合劑製造所
 松原町
 材 木 天城製材合資會社
 萬世町
 酒類 株式會社宮城島酒店
 土木請負 合資會社太田島組
 入船町
 材 木 合資會社森政材木店
 回漕 合資會社丸吉回漕店
 海陸運送 株式會社天野回漕店
 回漕 合資會社早川回漕店
 藥種 合資會社池田商店
 新港町
 石炭 山明商事株式會社
 清水
 冷凍冷藏芝菜冷凍冷藏合資會社
 米雜穀肥料 合資會社山平商店
 肥料 合資會社大安肥料店
 築地町
 人造毛皮 合資會社菊菱工業所
 鑄物 合資會社清水鑄造所
 日ノ出町
 冰糖製造 東郷冰糖合資會社

製材 渡邊 通太郎
 酒類 風間 新八郎
 薪炭 神戶 金太郎
 製材 川口 喜久司
 壽司飲食 松本 大作
 土木請負 增田 勇藏
 砂糖 志田 正男
 雜貨煙草 鈴木 晉義
 カフェ 峰川 恒夫
 料理 杉本 久三
 水蒟蒻 下清水 福藏
 米雜穀 田邊 甚太郎
 米 中田 甚太郎
 人夫請負 八木 庄作
 米穀 平島 平太郎
 村松
 建築請負 井上 與作
 下駄履物 井上 善太郎
 荒物雜貨煙草 大瀧 大二
 苗木柑橘 大石 長次郎
 米穀精米 天野 兼次郎
 藥種 北河 喜永
 青物乾物 宮城 周一
 飲食 鈴木 國松
 製材 櫻井 淺次郎
 北矢部
 土地建物周旋 三浦 太郎吉
 官加三
 酒釀造 岩崎 啓次郎
 自動車運送 松本 榮藏
 駒越
 鐵工 萩原 信次
 米穀 堀 春吉
 製材製函 渡邊 銀作
 米穀肥料 瀧戸 藤吉
 土木建築請負 古郡 久作
 製材 兒玉 吉五郎
 齋藤 義平
 苗木柑橘 大石 長次郎
 米穀精米 天野 兼次郎
 藥種 北河 喜永
 青物乾物 宮城 周一
 飲食 鈴木 國松
 製材 櫻井 淺次郎
 北矢部
 土地建物周旋 三浦 太郎吉
 官加三
 酒釀造 岩崎 啓次郎
 自動車運送 松本 榮藏
 駒越
 鐵工 萩原 信次
 米穀 堀 春吉
 製材製函 渡邊 銀作
 米穀肥料 瀧戸 藤吉
 土木建築請負 古郡 久作
 製材 兒玉 吉五郎
 齋藤 義平
 自動車 齋藤 藤
 運送煙草 澤瀧 仲右工門
 米雜穀 柴田 清作
 煙草雜貨 望月 權太郎
 折戸
 製材製函 川口 勝三郎
 全 增田 麟三
 全 佐々木 又次
 製材製函 塚本 仙太郎
 鐵工 大關 彌太郎
 米穀雜貨 石野 熊次郎
 料理飲食 栗田 妙之
 製函 山本 嘉之
 煙草飲食 窪田 峰吉
 飲食 窪田 勘作
 煙草雜貨 窪田 伊之吉
 肥料運送 遠藤 茂助
 料理 遠藤 邦夫

銀行 株式會社不二見實行社
 製材 大力製材合名會社
 米穀雜貨 合名會社遠藤商店
 造船 株式會社三保造船所

（營業收益稅十五圓以上）
 昭和十年九月現在

スポーツ

總說

昭和十年度の清水市運動界を懐古するにそれは依然たる不動の姿勢なりの語に盡きる。野球然り、軟式野球然り、テニス、アスレチック皆然り矣である。

一時縣下は愚か東海にその名を謳れたスポーツ清水の歴史は全くその影をひそめ、漠々たる低調の中に、僅かな戦績を楽しんで居る有様である。

その因を探るならば格好のグラウンドを持たない事、指導機關の無い事、補導的名選手の無い事等を擧げる事が出来よう。經費の關係上第一のグラウンド難は本年に於ても到底實現される事は難しいが、以外のものは、當事者の努力と熱でいくらでも容易に解消し得る。

市に体育協會は存在してゐる事になつては居ても爲すべきところなく、僅かに毎年十一月三日の全國体育デーを協賛して舉行する市民体育大會のみを以て能事足れりとするは時世を知らざるも甚だしと云ふ可きであり吾等は此の三六年に此等の障礙を取然と除去して明朗スポーツ清水の甦生を期すべ

きである。

清水日日新聞社
 主筆兼運動部長

渡邊 聰 一郎

野 球

實 業 團

清水市唯一の實業野球團として東海球史に輝く一頁を占める江尻クラブは本年當初猛速球の杉田投手の退營で都市對抗静岡縣豫選の覇を狙ふべく部員一同更生の意氣頗るなるものあり、自他共に強剛として優勝候補として五月下旬の大會に臨んだ。

然し二回戦に全静岡を破つただけで大功も無く決勝戦では老功兒玉投手の健投に遭ひ、ナイン全部タイミング悪く四對〇で覇權の夢は儂くなつた當日の記録は次の通り

江 尻 ク		(先)東海紙料	
中 望 月	三 竹 中	三 捕 投 左	中 木 玉 住
三 石 野	捕 鈴 兒	一 川 島	廣 杉 岡 榮
一 捕 日 高	左 投 杉	投(左)杉山	中 遊 太 石 間
遊(投)原田	右 遊 右 杉	右 高 橋	一 杉 岡(順)
右 遊 山田	二 戶 田	左 遊 山田	二 青 島
二 青 島	打 得 安 犠 四 失	失 四 犠 安 得 打	打 得 安 犠 四 失
策 球 打 打 点 數	數 点 打 打 球 策	數 点 打 打 球 策	數 点 打 打 球 策
三四〇二〇二	四 〇 四 四 一 〇 二	三 〇 四 四 一 〇 二	一 〇 二

軟式野球

本社主催第二回全清水大會

昨年秋季第一回を舉行して一大センセーションを惹起した本社の全清水軟式野球大會は其第二回

三五年清水市球界に亦一つの新生チーム記者團野球チームが組織された。

陸上競技

本年度青年團記録

百 米	仲井 正 (十一秒八)	入江青年	百 米	杉山 茂 (十一秒五)	庵 中
二百米	出口金一郎 (二五秒三)	不二見	四百米	間宮彌之助 (五八秒四)	青 年
四百米	仲井 正 (一分〇四秒)	入江青年	千五百米	鍋田得喜知 (四分五六秒四)	青 年
八百米	井上 廣 (二分十八秒七)	不二見	走巾跳	森 久次 (六米三七)	教 員
千五百米	鍋田得喜知 (四分五五秒)	不二見	走高跳	川崎愛太郎 (一米七六)	青 年
一万米	望月兼吉 (三五分二秒)	清 水	砲丸投	川崎愛太郎 (十三米十一)	青 年
俵 擔	鍋田 清 (三十一秒)	不二見	八百米繼走	教員チーム (一分四十一秒)	
瑞典繼走	(二分十七秒六)	不二見チーム			
八百米繼走	(一分四四秒二)	不二見チーム			
走巾跳	杉田石太郎 (六米三十一)	入江青	百 米	十一秒八	伊東 寧 (庵中)
走高跳	杉田石太郎 (一米七七A)	入江青	二百米	二五秒四	伊藤 博 (清商)
			四百米	一分一秒〇	岩本得三 (清商)

市 民 大 會

十一月三日 於岡小學校

三段跳	杉田石太郎 (十三米六六)	入江青
棒高跳	大石 勇 (三 米 A)	清水青
砲丸投	川崎愛太郎 (十一米五六)	江 尻
圓盤投	瀧戸敬一 (三十米七〇)	不二見
槍 投	小澤誠次 (四十三米〇七)	清 水

水上競技

市民大會 十月十七日庵中プール

百 米背泳 一分二二秒八 大瀧光雄(清水青年)
二百米平泳 三分二一秒二 望月 敬(庵 中)

走巾跳	五米七九	佐野保之助 (清商)	二百米自由型リレー	二分三秒三	庵中チーム
走高跳	一米六一	藤下鯉之助 (庵中)	三百米メドレーリレー	四分二秒八	庵中チーム
三段跳	十二米五四	伊東 寧 (庵中)	三百米メドレーリレー	四分七秒二	庵中チーム
八百米繼走	一分四九秒四	庵中チーム			
六十米	八秒四	原田すみよ (清高女)	八百米自由型	一二分三〇秒五	望月友吉 (江青)
百 米	十三秒七	原田すみよ (清高女)	五十米自由型	二九秒二	鶴飼尙久 (一般)
走巾跳	四米二四	酒井光代 (清高女)	百米平泳	一分三四秒八	藤波 浩 (庵中)
走高跳	一米二九	酒井光代 (清高女)	二百米自由型	三分十二秒六	川端富次 (庵中)
ボール投	二〇米七七	山田菊江 (清高女)	二百 全	二分四一秒五	服部吾一 (不青)
四百米繼走	五八秒七	(清高女)	百米背泳	一分三三秒	酒井清司 (庵中)
			百米自由型	一分一四秒三	鈴木貫一 (庵中)
			全	一分十一秒八	服部吉一 (不青)
			四百米自由型	七分一九秒二	佐々間菊男 (清商)
			四百米自由型	五分五三秒七	望月友吉 (江青)
			二百米リレー	二分一六秒五	庵中チーム
			八百米リレー	十一分二十秒八	庵中チーム

軟式テニス

清水市の軟式庭球界は依然たる低調の中に在り斯界のもつ大會は今や十一月三日の市民大會のみとなつた。十年度のそれは参加四十一名で多少の活躍が見られると思つたが、當日に至つて棄権頻出の有様でいさゝか心細く覺えた。

試合は新進の熊澤相馬組が元氣な當りとよきコムビネーションで優勝し去つた。

尙本社は同大會女子部に持廻り優勝銀盃を寄贈第一回の獲得者は清水高女の大川杉山組であつた。

男子決勝

熊澤(金) 4 | 2 坂川(東電)
相馬(港) 4 | 0 西村(高女)

女子決勝

望月(東) 4 | 0 三輪(電)
相馬(港) 4 | 0 三輪(電)

坂川(東電) 4 | 2 池上(三五)
西村(高女) 4 | 2 佐藤(五)

大川(清) 4 | 2 榊原(清)
杉山(女) 4 | 2 牧田(女)

卓球

市民大會に於ける順位左の通り

一般

1 若杉直四郎

2 山口正司

3 杉山勝太郎

女子 井上不二男

1 佐藤あさ

2 赤堀よしゑ

3 望月政子

3 伊藤さえ子

備考

本社は茲に駿河年鑑第五輯を出版した。内容の充實と、井然たる編纂は讀者の利便と好感に充分値するものと信じて居るが將來尙一層微細に亘り正確なる調査に依つて益々年鑑の使命達成に努力せんとして居る書中の各種統計は其の性質に依り昭和九年末と會計年度末の二様を精密に調査したものであるが、役職官公吏員等は昭和十年十月一日現在調査にして、印刷中の異動は可及的に修正加除してある。尙靜清地方の震災と縣會議員の選舉は特別欄を設けてこれを収録した。

昭和十年十二月五日印刷
昭和十年十二月十日發行

定價 壹圓五拾錢

清水日日新聞社
編輯者 代表 室 伏 一

清水市辻一〇七三番地
發行者 若 林 今 朝 一

清水市江尻傳馬町三七四
印刷者 高 原 利 市

清水市江尻傳馬町三七四
印刷所 高 原 印 刷 所

清水市辻一〇七三番地

發行所 清水日日新聞社

營業品目

朝鮮臺灣米 輸入穀小麥
滿鮮大小豆 養鷄飼料 直輸入商
北海大小豆 外國米碎米

清水市入船町 (私書函一四號)

小野壽一郎商店

電話 (二九五番)
七七〇番
電略 (ヲノ) 又 (ヲ)

◇釀造原料製餡原料現先物御注文願上候◇

株式會社 伊豆銀行

田方郡三島町一二五五六

電話 一〇番 一六五番
二三三番 七番

清水支店

電話 七七一番

江尻出張所

電話 八〇番

清水波止場
電話 六三六番

清水港水先案内

事務所

幸 阪 慎

自宅 清水市入江八八四番地
電話 三七六番(夜間用)

静岡縣庵原郡富士川町

中之郷七貳四番地

保證責任 富士川 信用購買 販賣利用 組合

電話 園岩淵 二五番

海木
運材



增田商事株式會社清水出張所

清水市富士見町壹丁目

本店 電話清水三二番
小樽市山ノ上町

◆目課業營◆

鐵鐵夕陸火諸罐一諸製各
骨塔 造船 汽 鐵建
機製 械 汽 鐵建
請用 械 汽 鐵建
般艦 用 械 汽 鐵建
一類 船 機 製
諸鐵 類 船 機 製
製並 工 工
種酸 素 工 業
業理 事 業

公認艦船工業
建築設計
監督請負業
建設監工

靜岡縣清水市築地町二丁目廿八番地

寺田鐵工所

電話七九〇番

清水市入船町三丁目三十五番地

日本鮪罐詰共同販賣株式會社

清水支店

電話七一八番

庵原郡富士川町中ノ郷八百五拾八番地

合資會社齋藤組代表社員

齋藤仁三郎

靜岡市紺屋町

齋藤組出張所

電話二二三七番

静岡縣清水港

三北村回漕店清水支店

電話五五四番

本店 横濱市港町
支店 東京。神戸。大阪

清水市入船町二ノ一一九

清水港木材取扱所

電話五二八番

静岡縣清水港

三北村回漕店清水支店

電話五五四番

本店 横濱市港町
支店 東京。神戸。大阪

清水市入船町二ノ一一九

清水港木材取扱所

電話五二八番

清水市清水驛前

△
合資 望月兄弟商會

電話 四一三・四一三番

協同國産 ちよだ、スミダ、いすゞ 静岡、山梨縣代理店
東京瓦斯電気工業 ポンプ薪自動車 同 右
ダイヤモンドトラツク 愛知、静岡、山梨縣代理店

△
鈴與自動車工場

電話 七四四番

プリンスタイヤー 東部日本總代理店
ヂヤイアント三輪車 静岡山梨縣代理店
自動車々体製作、修理、鉄工業

ひぜ國産=蝙蝠印

重油・グリス
燈油・輕油
ガソリン・モビール

營業課目



⑤ 鈴木油槽所

日本石油株式會社特約店

清水驛前
電話四五八・四五九番

清水食品會社
後藤罐詰所
專屬副產物一手取扱
養鰻飼料
養雞飼料
魚肥陳皮料
製造販賣

鈴木政十

清水市築地町一ノ四二
電話五〇一〇番
振替口座東京七〇二八七番
取引銀行 三十五銀行清水支店

ラワン材
北海産材
雜木材
家具材料
一式販賣

北川雜木
製材所

清水市萬世橋際
電話六八三番

合資會社

清水青果乾物市場

電話一、〇〇六番

庶民金融界ノ權威

西遠無盡株式會社
清水出張所

清水市辻一三一四番地
電話二三一三番

ひぜ國産=蝙蝠印

營業課目
ガソリン・モビール
燈油・輕油
重油・グリス



⑤

鈴木油槽所

日本石油株式會社特約店

清水驛前
電話四五八・四五九番

清水食品會社
後藤罐詰所
養鰻飼料
養雞飼料
魚肥陳皮料
製造販賣

鈴木政十

清水市築地町一ノ四二
電話五〇一〇番
振替口座東京七〇二八七番
取引銀行 三十五銀行清水支店

北川雜木
ラワン材
海産材
雜木材
家具材
一式販賣

北川雜木
製材所

清水市萬世橋際
電話六八三番

合資會社

清水青果乾物市場

電話一、〇〇六番

庶民金融界ノ權威

西遠無盡株式會社
清水出張所

清水市辻一三二四番地
電話二二三一

書畫看板
製作設計
ペンキ塗
請負業

堀谷又三

清水市江尻傳馬町
電話 三二〇番

清水市入船町三ノ二

清水港木材株式會社

電話二六四・八二四番

活動常設

敷島館

清水市江尻 電八八番
館主 澤口東天
營業部長 大森楠山

清水市辻二二五三番地

清水瓦斯株式會社

電話五三二番

清水港

株式會社 天野回漕店

電話
七七
九九
五四
番番

清水市辻二二五三番地

清水瓦斯株式會社

電話五三二番

清水港

株式會社 天野回漕店

電話
七七
九九
五四
番番

大分セメント
東洋セメント
日之出セメント

静岡縣下一手販賣

清水市萬世町八千代橋

セメント商
建築材料商
星柴田商店

電話六十一番六十二番

株式會社
×清水魚市場

電話一五六番
五六五番

清水藝妓屋組合

<p>親切第一 御遊覧にわ是非</p> <p>太田嶋タクシー</p> <p>清水市萬世町 電話一九〇番</p>	<p>安全第一 静岡御遊覧にわ</p> <p>二葉タクシーで</p> <p>清水市辻相生町電交前 電話四六一番 石ヶ谷五兵衛</p>
<p>債券賣買金融</p> <p>鈴木債券店</p> <p>清水市相生町電交前 電話一二四番</p>	<p>釣具 釣餌 の御用命親切第一の</p> <p>増田貸舟店で</p> <p>清水市港橋際</p>

北海道樺太 静岡縣清水市(清水港驛前)海岸通り
 南洋ラワン 專
 沿海州滿州
 米國各國産業
 木材直輸入

TM

望月貞策商店木材部

電信略號 (モチ) 又 ハ (モチ)
 振替口座 東京三六四一九番
 受信略號 (シ) ミズシ、モチヅキ
 電話清水 特長五番、一〇六五番
 電話清水 園七二七番、三保園六八番

安全第一

静岡清水 御遊覧にわ

二葉タクシーで

清水市辻相生町電交前
電話四六一番
石ヶ谷五兵衛

親切第一

御遊覧にわ是非

太田嶋タクシー

清水市萬世町
電話一九〇番

釣具
釣餌

の御用命親切第一の

増田貸舟店で

清水市港橋際

債券
公債 賣買 金融

鈴木債券店

清水市相生町電交前
電話一二四番

北海道、樺太、
南洋ラワン、
沿海州、滿州、
米國各國産業、
木材直輸入

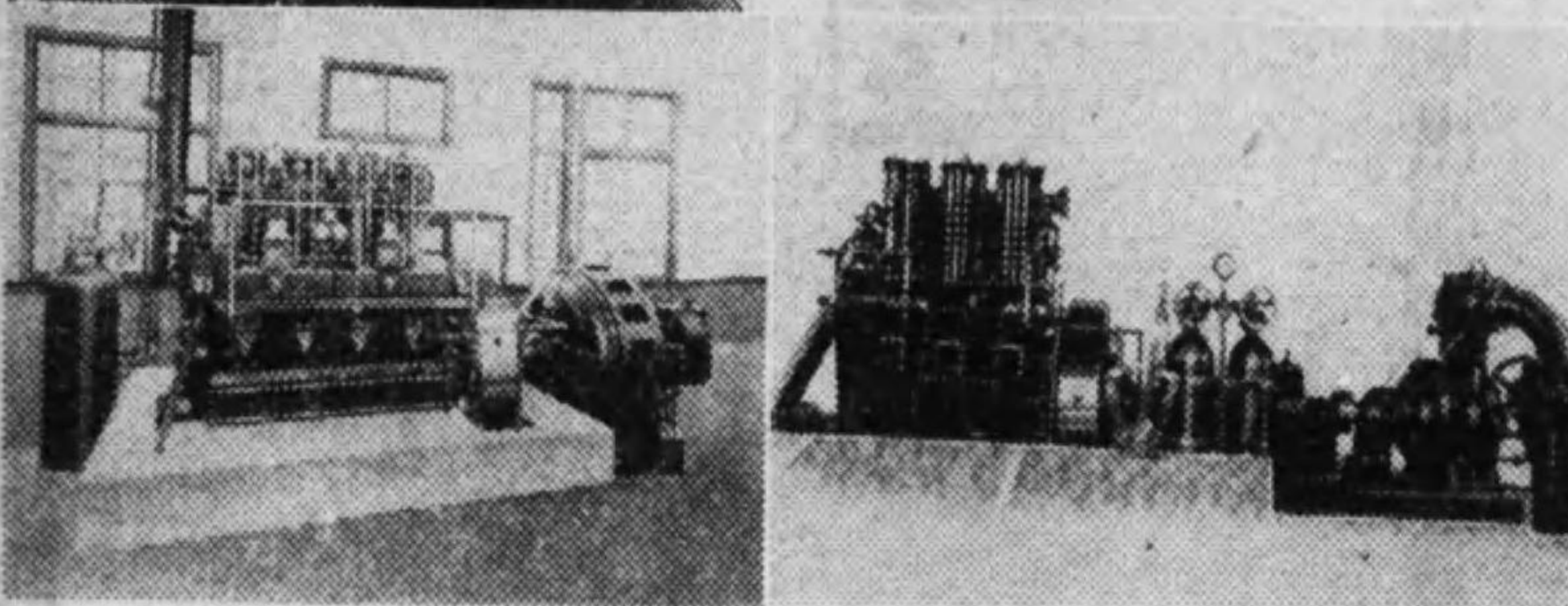
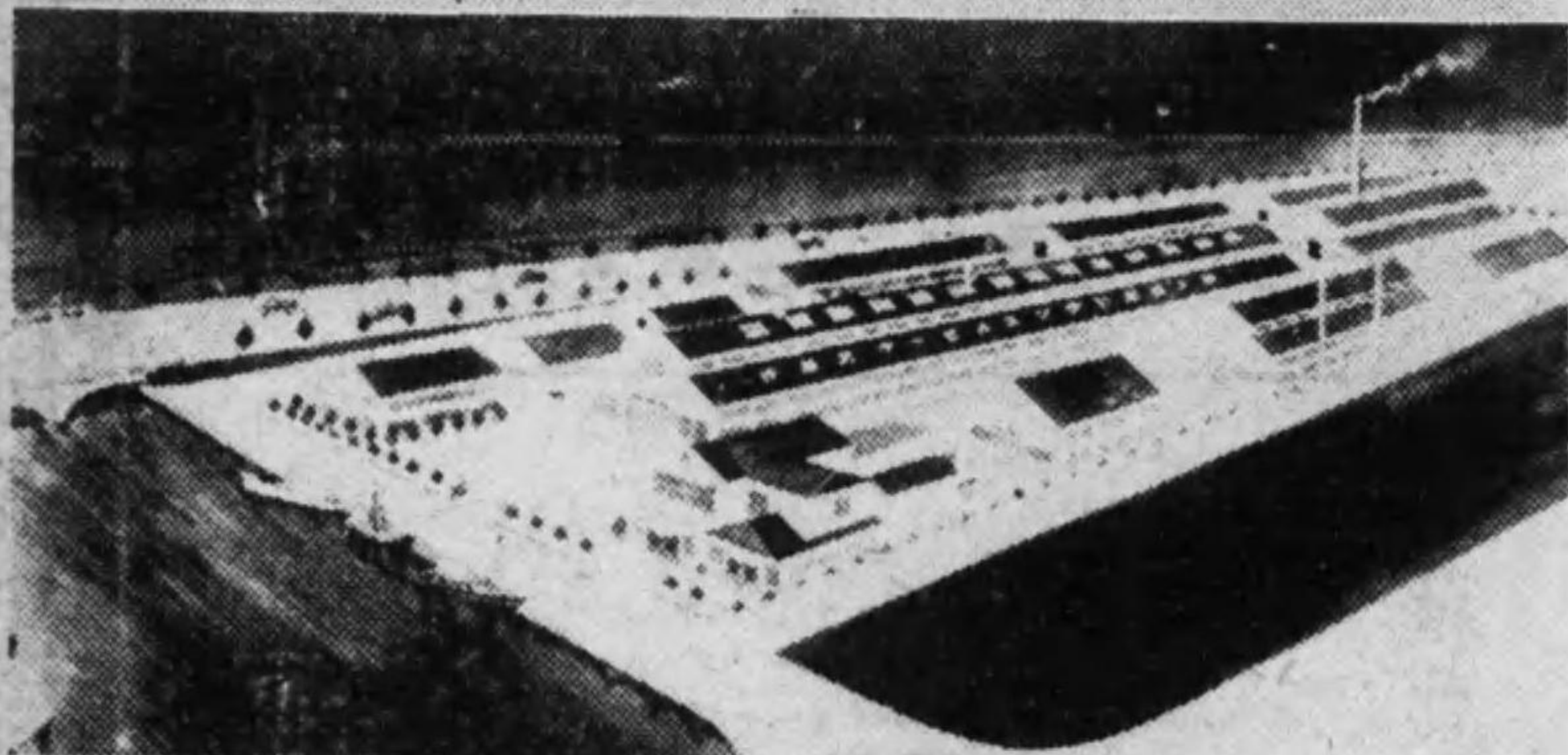
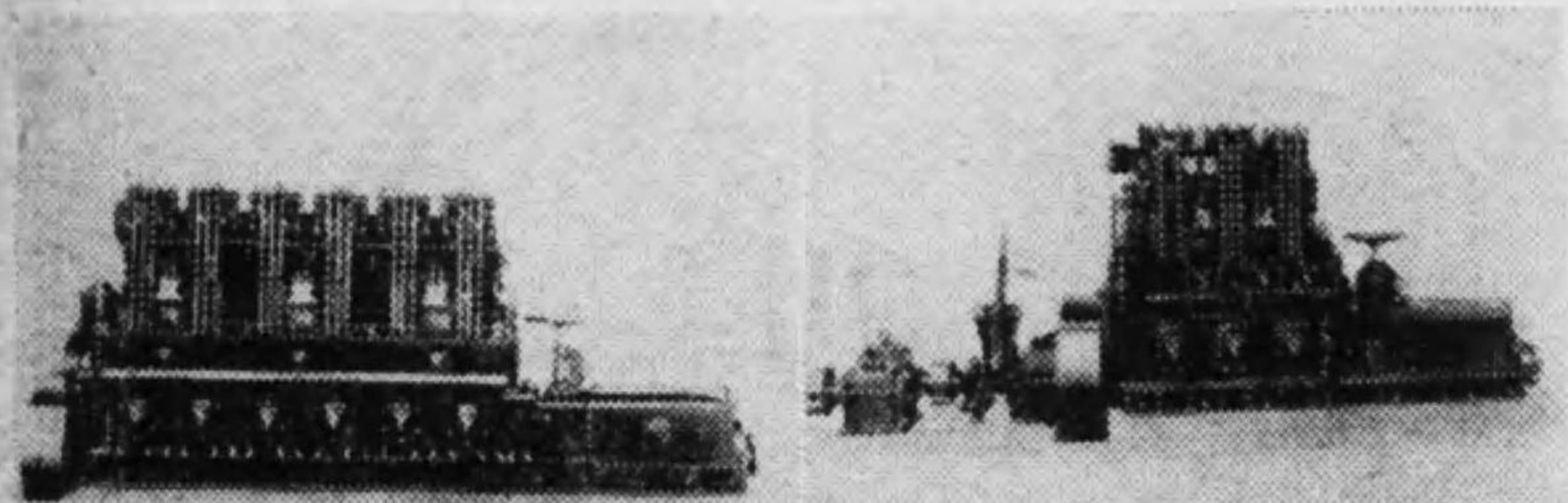


望月貞策商店木材部

静岡縣清水市(清水港驛前)海岸通り

電信略號 (モ) 又 (バ) (モ)
振替口座 東京三六四一九番
受信略號 (シ) ミ、メ、シ、モ、チ、ヅ、キ
電話清水 特長五番、一〇六五番
電話清水 國七二七番、三保國六八番

I T O



(上) 船用伊藤式250馬力ディーゼル機関 (上) 船用伊藤式100馬力ディーゼル機関
 (下) 陸用伊藤式150馬力ディーゼル機関 (下) 陸用伊藤式110馬力ディーゼル機関
 發電機直結 中央 伊藤鐵工所全景 唧筒直結

農林省認定工場
陸軍省御用工場

伊藤鐵工所

清水市
電話 785
電話 788

株式會社

清水市駒越

不二見實行社

電話一、〇〇四番



土屋染物店
清水市萬世町一丁目

印伴天ノ一大革命

御誂印入染物ト旗幟幕一般

御召物や肌
色の着く事な
く生地のおよ
事總て從來の
缺點を除去し
て居ります何
卒近來化學の
精密に御信賴
の上御下命を
乞ふ

深江ゴム工業所

所主深江幸太郎

清水市幸町
電話五四九番
電略(フカエ)又(ハフ)

烹 割

樓 川 玉

清水市柳橋畔
電話六六一〇番


有價証券現物
金 融

上

店 式 株 上 金

秋葉前出張所 電話八六一番

清水市萬世町二丁目
電話一七四〇番



土屋染物店

清水市萬世町一丁目

御誂印入染物ト旗幟幕一般

印伴天ノ一大革命

御召物や肌の色に着く事なく生地のおよき事總て從來の缺點を除去して居ります何卒近來化學の精密に御信頼の上御下命を乞ふ

深江ゴム工業所

所主 深江幸太郎

清水市幸町

電話 五四九番

電略(フカエ)又(ハフ)

烹

割

樓 川 玉

清水市柳橋畔

電話 六六一〇番

秋葉前出張所

電話八六一番

上

店 式 株 上 金 融

有價証券現物

金

清水市萬世町二丁目

電話 七一四〇番

清水市港町四ノ十

冬青木運送株式會社

電話 五〇八番 五〇九番
六七二番

江尻支店

清水驛前

電話 二九二番
八〇八番

最上醬油

米壽

清水市折戸

柴田釀

電話清水二一六番
三一六番

静岡縣興津町

蓬萊閣製絲場

電話三一三番

手塚商店柑橘部

電話五番

清水市上清水

村岡源次郎

電話一、二二一番

岡縣庵 原郡袖師村嶺

余村田商會製材所

村田竹藏

電話六九五番

第二工場 山梨縣身延町波木井

電話身延六八

第三工場 富士郡大宮町驛前

由比町保勝會

清水市上清水

村岡源次郎

電話一、二二一番

岡縣庵 原郡袖師村嶺

余村田商會製材所

村田竹藏

電話六九五番

第二工場 山梨縣身延町波木井

電話身延六八

第三工場 富士郡大宮町驛前

由比町保勝會

清水市

秋田木材
株式會社

名古屋支店清水出張員

電話 七 一 四 番

新ラシク生レタ貸舟釣舟店

皆様ノ御家族御揃ヒデ

一日ノ御清遊ニ御出カケ下サ

ルノヲ御待申シテ居リマス

渡邊釣舟貸舟店

清水市港橋元
電話呼五九三番

静岡縣清水市江尻傳馬町

多 諸紙 輸出 商 薩川竹次郎

電話 一 一 七 番

清水市松原通リ

内外産 諸材木 上 稻葉駒吉商店

電話 一〇六九番
電略(イ)又ハ(イナ)

清水市江尻鍛冶町

御そば 天井 洋食 音 羽 屋

電話 九 三 三 番

静岡縣清水市日之出町一丁目縣有埋立地無番地

保證責任 静岡縣購買利用組合聯合會

電話代表

一〇〇八〇番
九一六番

柴田罐詰所

工場 清水市三保塚間
電話(三保)百二十三番
自宅 清水市美濃輪町
電話四百十四番

清水市江尻巴町三八五



保證責任 清水瓦購買利用組合

組合長理事

杉山徳次郎

電話清水長六九一番
清水局秘書函七二一號

静岡縣清水市日之出町一丁目縣有埋立地無番地

保證責任 静岡縣購買利用組合聯合會

電話代表

一〇〇八〇番
一〇〇八四番
九一六番

柴田罐詰所

工場 清水市三保塚間
電話(三保)百二十三番
自宅 清水市美濃輪町
電話四百十四番

清水市江尻巴町三八五



保證責任 清水瓦購買利用組合

電話清水長六九一番
清水略水一七七一番
清水局私書函七
組合長理事 杉山徳次郎

清水市清水港

旅館 朝陽館

電話長二二二番

清水市清水波止場

旅館 苙糸館

電話二二二番

清水市江尻(清水驛ヨリ西五丁)

鐵道省指定旅館 大ひさし屋

電話五三四番

清水港

清水館

電話五七番

清水市波止場

釣具 釣工 石田テグス店

電話五六二番



カフェー

銀座

清水市萬世町二丁目

御婚禮と御贈答に鯉節

清水市波止場 海産物問屋

分石野商店

電話六四番

達用御省内宮

一本日質品



健康の味 友の王 キツコーエン醬油

醸造元

中村醬油株式會社

發賣元 江尻出張店

電話一七六番

各種瓦製造

問屋 原台吉商店

清水市元魚町
電話五八一番

薬は

眞長薬局

清水市入江町
電話八百十六番

物名 清水漬

御辨當

各土産品取揃てあります

芳野屋本店

清水波止場 電話二〇七番

最上醬油
米麴味噌

宮城島醸造元

清水市三保
電話三保一二番

幽邃閑雅ニシテ而モ

風光絶佳

温泉旅館 御料理 翠・紅園

春は狐ヶ崎の櫻狩

夏はすがすがしい香水風呂

秋は月見に松茸狩に

冬は暖かな土耳其風呂

静岡市外狐ヶ崎
電話清水八〇九番

静岡名物

風味自慢

次郎長漬

大根入さび漬

最寄ノ販賣店ニテ
御求メ下サイ

清水市波止場

合資会社 早川回漕店

電話一九九番

各種瓦製造

問屋 原台吉商店

清水市元魚町
電話五八一番

物名 清水漬

御辨當

各土産品取揃てあります

芳野屋本店

清水波止場 電話二〇七番

薬は

眞長薬局

清水市入江町
電話八百十六番

最上醤油
米麴味噌

宮城島醸造元

清水市三保
電話三保一二番

幽邃閑雅ニシテ而モ

風光絶佳

温泉旅館
御料理 翠 紅 園

春は狐ヶ崎の櫻狩

夏はすがすがしい香水風呂

秋は月見に松茸狩に

冬は暖かな土耳古風呂

静岡市外狐ヶ崎
電話清水八〇九番

静岡名物

風味自慢

次郎長漬

最寄ノ販賣店ニテ

御求メ下サイ

大根入さわび漬

清水市波止場

合資会社 早川回漕店

電話一九九番

三井物産株式會社

清水出張所

清水市港町三丁目ノ四
電話 六二五番 六二六番
五一九番

漁船電化

特許漁船電燈裝置器具機械專門製作
特許電氣浮標燈及集魚燈製作販賣
特許硝子綿硝子纖維版製造販賣
特許蓄電池及材料電氣メツキ一式

會社資海電社

靜岡縣清水港萬世町二丁目十八番地
電話 清水一〇五四番

電池メツキ工場・萬世町停留所
電機器具工場・松原停留所
瀬戶硝子工場・江尻出作

清水遊廓
貸座敷業組合

常	壽	菊	大	吉	加	千	第	山
							二	
							山	
盤	々	喜	村	阪	本	嶋	疊	湖
							湖	

樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓
電話五五七番	電話七九六番	電話三六六番	電話二五〇番	電話八一八番	電話六八八番	電話六一二番	電話八三六番	電話四三三番

北地
洋材
材材
販賣
業

ㄅ 小澤商店

清水市辻相生町
電話一〇一七番

清水遊廓
貸座敷業組合

山	第	千	加	吉	大	菊	壽	常
湖	二	加	加	大	大	大	大	大
湖	山	千	千	大	大	大	大	大
湖	湖	千	千	大	大	大	大	大
樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓
電話四三三番	電話八三六番	電話六一二番	電話六八八番	電話八一八番	電話二五〇番	電話三六六番	電話七九六番	電話五五七番

北洋
内地
材材
販賣
業

ㄅ 小澤商店

清水市辻相生町
電話一〇一七番

本年度配當最高
十三割五分

高級社員採用

相互の社會の理想
祖元の生命保險

月末契約高
十六億二千萬圓

静岡縣の爲めに働け我等縣民の爲めに働け

業務は簡易固定給を與ふ（採用管區縣下一帶）

最大より最良をモットーとする我社は何故
に社員を大募するか先づ來談せられよ

年齢二十五歳以上可成妻帶者
教育中等程度以上

第一生命

静岡支部長

静岡市新谷町九電二四七八

確實なる保證人二名を要す

生活を保證し業務を指導す

臺數多くて何時でも

敏速に間に合ふ

は命に
御用命は
中央自動車

清水驛前
電話九九二番

東海道清水驛前

松葉屋旅館

商工大臣認可

清水洗染クリーニング商業組合員

村田
クリーニング
商會

清水市江尻鍛冶町
電話清水九八〇番

清水市
庵原郡
柑橘商同業組合

電話七七九番

專 門
耳鼻喉科

馬越醫院

清水市巴町鐵道踏切
電話三七七番

入院隨意

專 門
小兒科

太田醫院

醫學博士 太田鋼三

清水市江尻新道
電話五〇四番

清水市清水本町

泉

株式會社

中埜酒店清水支店

清水局私書函十八號
電話三〇番三九番

門 專

科 喉 咽 鼻 耳

院 醫 越 馬

清水市巴町鐵道踏切
電話 七 七 三 番

入院隨意

門 專
小 兒 科

太 田 醫 院

醫學博士 太田鋼三

清水市江尻新道
電話 五〇四番

會 株 式
中 埜 酒 店 清 水 支 店

清水市清水本町

清水局私書函十八號
電話 三〇番 三九番

美

趣味・流行

調和・経済



そして安んずるために

不斷の研究を進めて居ります

圖案設計

室内裝飾

タンス
和洋家具
一般

武士道の營業振

松永家具店

清水市江尻傳馬町・電話九八九番

SMS

株式會社

清水木材倉庫

木材保管金融

社長 鈴木與平

電話七〇五番

土木一般
水道工事
測量設計
工事監督

西垣工務所

清水市萬世町二丁目一番地
電話 一〇一三番

營業課目

綱製漁船 木造漁船 綱製油送船 綱製並修船 鋼製油槽 鋼製鐵塔 水機鐵塔 諸機鐵塔 船機鐵塔 修用品製作

農林省 農須賀海軍々需部 指定工場



株式會社 三保造船所

静岡縣清水市三保
電話 (三保) 五九番
電話 (三) 又ハ (三保)

土木一般
水道工事
測量設計
工事監督

西垣工務所

清水市萬世町二丁目一番地
電話 一〇一三番

營業課目

網製漁船 木造漁船 網製油送船 網製油槽修理 鋼製油塔 水機鐵塔 諸機鐵塔 船用品製作 修船用品製作

農林省 農須賀海軍々需部 指定工場



株式會社 三保造船所

静岡縣清水市三保
電話(三保)五九番
電話(三)又ハ(三保)

日本石油株式會社代理店
 ライジングサン石油會社代理店
 關西ペイント株式會社代理店
 日本ペイント株式會社特約店
 東京製鋼株式會社特約店
 東亞製鋼株式會社特約店
 高田船底塗料會社特約店
 全國カーバイト共販組合特約

油類—船具—塗料
 卸問屋

鈴木油槽所

清水市辻町 電話四五八・四五九

鈴木出張所

船具商店

清水市港町 電二三三番

清水市辻一四二六

中駿衛生普及會

電話七一五番

和洋酒類

大内食堂

清水市江尻傳馬町
 電話七五〇番

清水市富士見橋際

名代
 す
 し
 龜

電話六六三番

小關無線電氣工業所

清水市波止場
 電話八六五番

清水市辻二〇一番

株式會社 駿州銀行

電話員
七五一
一〇七
七二二
番番番

清水市清水上一丁目

△ 合資會社 大安肥料店

電話清水八番
電話(ヤヤ)又ハ(一)

清水市清水二六八番

山梨肥料合資會社

代表社員 山梨重多
電話六八番

静岡縣清水港

肥料商△ 土屋大吉

長電話七四八番
電話(ツチャ)又ハ(ツ)

完全飼料製造
飼料雜穀輸入商

杉山鐵藏商店

清水市本町
電話六九二

清水市辻二〇一番

株式會社 駿州銀行

電話員
一五七
一〇七
二二番
七番

清水市清水上一丁目

△ 合資會社 大安肥料店

電話清水八番
電略(ヤヤ)又ハ(一)

静岡縣清水港

肥料商△ 土屋大吉

長電話七四八番
電略(ツチャ)又ハ(ツ)

清水市清水二六八番

山梨肥料合資會社

代表社員 山梨重多
電話六八番

完全飼料製造
飼料雜穀輸入商

杉山鐵藏商店

清水市本町
電話六九二

清水市松井町川岸通り

釣舟網舟

松下貸舟店

釣道具餌一式 呼電二一四番

佐藤式釣車製造發賣元
大崎式釣車特約販賣店

繼竿製造 清水市江尻柳橋隣

竿貞釣具店

本テ道エ 釣具

電話(サトウ)又ハ(サ)

原澤式車竿製造

つり吉

原澤輝吉

清水市江尻傳馬町
電(呼)三四番

清水市松井町川岸通り

原金釣船店

電呼九六三番

鐵道省指定旅館
内務省社會局指定
静岡縣廳指定

飯島館

清水市清水驛前
電話四五六番

清水市入船町

旅館二見旅館

電話六六八番

御料理 京 稻

清水市江尻海岸
電話五一六番

時金計 貴タル 優メタル 蓄音器

清水市江尻志茂町

佐藤時計店

電話七七四番
振替東京七六八五〇

買賣物現 **父** 券証價有

店商郎太專本山

目丁二上市水清

番 九 六 四 一 } 話 電

屋問物現券証價有

全

店商郎次竹田保久

町旭辻市水清

番 三 五 五 〇 四 九 〇 七 三 } 話 電
七 三 九 〇 三 二 九

支店 { 静岡市寶町一
電一八六二・三二五六

燒津町塩津
電三三三三・五一八

静岡縣清水市外北脇五〇〇番地

綾羽クツシタ株式会社

電話清水一〇一四番

清水木材株式會社

清水市新港町
電話 一三八三
番 八

鈴木商回漕船部差

風間米作

清水市新港町

資本金百萬圓

清水港驛前

通 清水運送株式會社

電話七四二番・七四三番・九七三番

同 清水驛支店

電話自一六四番至一六七番

同 埠頭驛支店

東京製

ハ 金 庫



(責任保証付)

大橋金庫製作所代理店
 山梨國産商會出張所
 水晶、印傳、印材副工品一式
 S式特許毛糸再製器販賣
 各種織糸毛糸類販賣
 手提金庫、金銭登録器

紫 光 商 會

影山貞一

清水市江尻巴町396番地ノ2

電話 474番

振替東京84338番

食 堂

壽

キ ン ー
 元 祖

清水市波止場 電話二六一番

飛切高級塗料溶劑

直 輸 入



百パーセントラツカー
 ロイドラツカー

長 島 化 學 製 品 所

長 嶋 銀 藏

清水市入江町 電話一七三番
 八七〇番

大坂市淀川區三十區東ノ町
 電話北四七五番
 東京市芝區新橋ノ四八番
 電話芝二二五九番

東京製

ハ庫金



(責任保証付)

大橋金庫製作所代理店
山梨國産商會出張所
水晶、印傳、印材細工品一式
S式特許毛糸再製器販賣
各種縫糸毛糸類販賣
手提金庫、金錢登録器

紫光商會

影山貞一

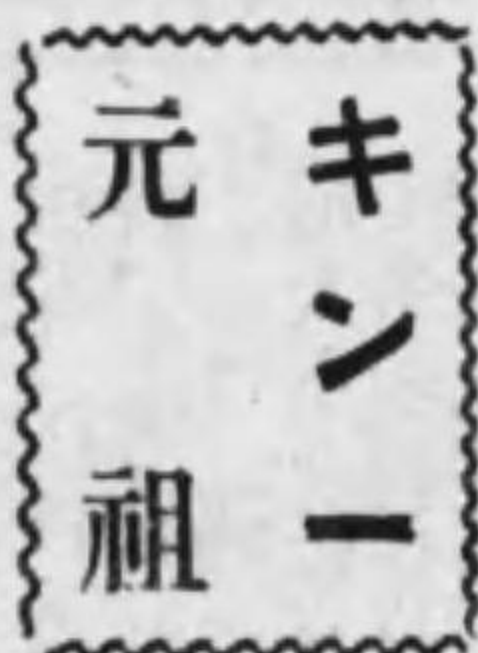
清水市江尻巴町396番地ノ2

電話 474番

振替東京84338番

食 堂

壽



清水市波止場 電話二六一番

飛切高級塗料溶劑

直輸入



長島化學製品所

長嶋銀藏

百パーセントラツカー
ロイドラツカー

清水市入江町 電話一七三番
八七〇番

大阪東淀川區三十東ノ町
電話北四七五番
東京芝區新橋四ノ八
電話芝二二五九番

内地材製材製函業

白木商店

清水市入船町一ノ四
電話七〇六番
山梨縣北巨摩郡
淵澤電話二九番

市内唯一ノ高級

酒場麗人座

清水市相生町電車停留所南角

清水市清水松井町

瓦製造 川口惣作
問屋

電話七一六番
電略(カワ)又ハ(カ)

營業種目

セトモノ部
天龍峽燒取次
古本部
和、本、江戸繪、洋本、教科
書、參考書、其他
洋裁部
婦人小供服裁斷並ニ仕立
婦人小供物無料教授
毛糸編物無料教授
有名化粧品、足袋靴下、手
藝材料販賣並ニ無料教授

清水市荒井竹治商店
小尻治商店
芝小尻治商店

清水市入江百拾七番地

保証責任
醫療利用組合

更生病院

清水診療所

電話二一九番

内科 小兒科
外科 婦人科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

内地材製材製函業

白木商店

清水市入船町一ノ四
電話七〇六番
山梨縣北巨摩郡
淵澤電話二九番

清水市清水松井町

瓦製造 川口惣作

電話七一六番
電略(カワ)又ハ(カ)

市内唯一ノ高級

酒場麗人座

清水市相生町電車停留所南角

營業種目

セトモノ部
天龍峽燒取次
古本部
和、本、江戸繪、洋本、教科
書、參考書、其他
洋裁部
婦人小供服裁斷並ニ仕立
婦人小供物無料教授
毛糸編物無料教授
有名化粧品、足袋靴下、手
藝材料販賣並ニ無料教授

清水市荒井竹治商店
小尻芝町

清水市入江百拾七番地

保證責任 更生病院
醫療利用組合

清水診療所

電話二一九番

内科 小兒科
外科 婦人科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

清水市
庵原郡

柑橘商同業組合 興津支部

洋家具の良品

製造して安く賣る店

専門品目

戸棚、衝立
椅子、卓子
冷蔵庫
洋服タンス
本箱
室内装飾
ケ内装類
店舗設計

清水市江尻傳馬町三七八

マニラ屋洋家具店

電話九五一番

工場 清水市辻町一、〇二五ノ一

有價証券
現物賣買

④ 清水屋株式店

清水市相生町
電話 六二五三九番

靜岡無盡株式會社

清水出張所

清水市

電話 一六一番

清水港飛島埋立地

東海造船株式會社

電話 清水 七九七番

有價証券
現物賣買

① 清水屋株式店

清水市相生町
電話 六五三九番

靜岡無盡株式會社

清水出張所

清水市
電話 一六一番

清水港飛島埋立地

東海造船株式會社

電話清水七九七番

靜岡市吳服町一丁目

株式會社 三十五銀行

頭取 中村圓一郎

電話代表番號 靜岡三五〇〇番(六)

支店出張所

吳服町 安馬町 傳馬町 橫内町 新通

清水 江志茂 濱松 津島 泉

掛堀 東相島 藤衣

川内 遠良 田枝 大宮 三吉

燒津 興津 富宮 大東 原

出勝間田 張神戶 所前島

清水市辻二〇一番地

株式會社 駿州銀行

電話 七五一〇七七番

株式會社
靜岡銀行

靜岡市吳服町二丁目二八

腦脊髓病科
神經病科
精神病科

駿府腦病院

院長 講口正
電話 靜岡市沓ノ谷
二九九二番

梅毒血液検査隔日

東京電燈株式會社沼津支店

清水出張所

清水市江尻一四一六番地
電話 四四五・四四六番

株式會社
靜岡銀行

靜岡市吳町二丁目二八

腦脊髓病科
神經病科
精神病科

駿府腦病院

靜岡市沓谷
電話 二九九一
院長 講口 正

梅毒血液検査隔日

東京電燈株式會社沼津支店

清水出張所

清水市江尻一四一六番地
電話 四四五・四四六番

家傳

三島膏本舖

清水市江尻二八五

柳原藥局

電話一〇三番
私書函清水五番

創立三十五年

有限責任 **不二見信用組合**

組合長 大橋清

清水市村松
電話 六四五番

大同海運株式會社代理店
川崎汽船株式會社米航代理店
各汽船會社代理店

清水市波止場

合名會社 淺野信治商店清水出張所

電話五五一番
本店名古屋市南區港本町六丁目



最上醬油
清涼飲料水
釀造元

清水市清水二丁目

渡邊清吉

電話一三〇番

望月鐵工場

清水港波止場
電話九八番

小兒科

内科

曾根醫院

清水市辻末廣町
電話一五五番



ヤマハク

醸造元

劍持醸造所

電話一四九番

契茶川食堂

やすい軒

清水驛前
電話一〇一〇番

東海道岩淵驛前

合資會社 富士川製材所

電話 岩淵一六番
振替口座東京三三三二七一番

全日本農具界の權威

各博覽會金牌受領

農具の……長澤
金網の……長澤



長澤式万石通

最優秀……斯界の名機
長澤式米撰機

長澤の……万石
長澤の……米撰機
長澤の……金網



長澤式米撰機・長澤式万石通
農具・紙製用其他各種金網

製造元

長澤重兵衛商店

清水市上清水一六八
電話清水四三八番 振替東京二一三七番

東海牛乳商業組合 清水支部

松口牧場、羽衣牧場、小澤牧場、佐藤牧場、佐藤販賣所
小澤牧場(吉川)、櫻田販賣所、櫻田牧場、有泉牧場、内藤
牧場、横澤牧場、持山牧場(順序不同)

355

1255



(SMC)

清水水産株式会社

罐詰製造販賣
冷凍冷蔵業

電話 (一三二二番)
電話 (二六二二番)
電略 (スイ) 又ハ(ス)

清凉飲料水製造
和洋酒販賣
大日本ビール特約店

清水市

鈴惣商店

電話二二三番

清水市で一番賣れる

清水日日新聞

本経社本

静岡日日新聞
焼津日日新聞
富士日日新聞

社長 若林今朝一

355
1235



SMC

清水水産株式会社

罐詰製造販賣
冷凍冷蔵業

電話 (三二二番)
電話 (二六二番)
電略 (スイ) 又 (ス)

清凉飲料水製造
和洋酒販賣
大日本ビール特約店

清水市

鈴惣商店

電話二二三番

管經社本

清水市で一番賣れる

清水日日新聞

静岡日日新聞
焼津日日新聞
富士日日新聞

社長 若林 今朝一

陸海軍御用

酒は
源氏

東洋釀造株式會社

終